

羽生の教育

令和元年度



羽生市教育委員会



羽生市民憲章

(昭和五十四年十一月二日制定)

わたくしたちは、先人の築いた郷土の歴史とすぐれた伝統を大切にし、羽生市民であることの誇りと自覚をもち、しあわせと生きがいのあるふるさと羽生をねがって、この憲章を定めます。

わたくしたち羽生市民は

- 一 感謝の気持ちと
奉仕の心を伸ばします
- 二 教養を深め
視野を広めます
- 三 勤労に誇りを持ち
仕事に励みます
- 四 環境をととのえ
住みよいふるさとに育てます
- 五 きまりや秩序をまもり
明るい社会を築きます

羽生わがまち

- 一、 生れ 育った まちだから
移り 住んでる まちだから
風も みどりも ゆく雲も
なんだか とつても 親しめる
羽生 わがまち わがふるさと
羽生 よいまち 夢がわく
- 二、 祖父が 住んでた まちだから
母が 生れた まちだから
花も 小鳥も ゆく川も
なんだか とつても なつかしい
羽生 わがまち わがふるさと
羽生 ゆたかに 伸ばそうよ
- 三、 あすも 住んでる まちだから
未来 果てない まちだから
ひとつも 自然も 街並みも
なんだか とつても すばらしい
羽生 わがまち わがふるさと
羽生 大きな 明日がある

目 次

羽生市教育委員会	1
I 羽生市の概況	
1. 成り立ち	2
2. 位置	2
3. 人口と世帯数の推移	3
4. 公共施設と学区	3
5. 第2期羽生市教育振興基本計画	4
6. 教育委員会のグランドデザイン	8
7. 学校教育部のグランドデザイン	9
8. 生涯学習部のグランドデザイン	10
9. 羽生市学力向上グランドデザイン	11
10. 羽生市教育委員会学力向上重点7	12
11. 令和元年度 羽生市教育行政重点施策	13
12. 教育委員会の機構と事務分掌	19
13. 羽生市の予算と教育費の内訳	20
II 学校教育	
1. 重点施策	22
2. 小・中学校教職員年齢構成及び男女比	28
3. 児童・生徒数の推移	29
4. 平成30年度 中学校卒業者の進路状況	30
5. 羽生市立小・中学校の一覧表	31
6. 羽生市教育研修センター	38
7. 羽生市適応指導教室	38
III 道徳・人権教育 食育・健康教育	
1. 重点施策	39
2. 人権教育推進協議会の概要と事業計画	43
3. 学校給食の状況	45
IV 生涯学習・文化活動	
1. 重点施策	46
2. 指定文化財一覧	50
3. 羽生市公民館の概要	54
4. 羽生市産業文化ホールの概要	57
(図書館・郷土資料館)	
5. 重点施策	58
6. 羽生市立図書館・郷土資料館の概要	59
V スポーツ	
1. 重点施策	60
2. 羽生市体育館及び羽生中央公園の概要	62
VI 資料	
1. 教育委員会教育長及び委員	63
2. 教育委員会関係委員等	64
3. 教育施設の沿革	65

羽生市教育委員会



教育長
秋本文子



教育長職務代理者
柿沼拓弥



委員
高瀬賢一



委員
平野博之



委員
岩崎智子

職名	氏名	任期
教育長	秋本文子	平成31年 4月 1日～令和4年 3月31日
教育長職務代理者	柿沼拓弥	平成27年10月 5日～令和元年10月 4日
委員	高瀬賢一	平成28年10月 1日～令和2年 9月30日
委員	平野博之	平成29年10月20日～令和3年10月19日
委員	岩崎智子	平成30年10月 1日～令和4年 9月30日

I 羽生市の概況

1. 成り立ち

利根川沿いの羽生のまちは、水利がよく土地も肥え、早くから農耕文化が栄えたところであり、古い塚や古墳、出土した埴輪はそのことを証明してくれます。このため羽生の地名は埴輪から転化したものだともいわれています。歴史上、羽生という地名が出てくるのは、文明 10 年（1478 年）の太田道灌の手紙に「武州羽生の嶺にたてこもり」と書かれているのが最初です。その後「羽生城」ができ、その支配する領分を羽生領と呼ぶようになり、「羽生」の地名が広まったと考えられます。徳川家康が江戸に幕府を構えると、江戸を守るかなめとなり、幕府直轄の天領や旗本領になるなど幾多の変遷がありました。

徳川時代の小規模な村々 49 ヶ村は、明治期に入り合併が繰り返され、明治 22 年町村制施行により 1 町 8 村が成立しました。昭和 29 年 9 月 1 日には、羽生町ほか 6 村が合併し羽生市が誕生、県下 16 番目、全国で 434 番目でした。（世帯数 6,604 戸、人口 3 万 6,564 人）その後、昭和 34 年 4 月 1 日に千代田村を編入し、現在に至っています。

2. 位置

羽生市は関東地方のほぼ中央、埼玉県北東部に位置しています。首都東京まで 60 km、県庁所在地さいたま市（浦和区）まで 40 km です。東と南は加須市、西は行田市、北は利根川を隔てて群馬県に隣接しています。市域は東西 10.25 km、南北 6.71 km、面積 58.64 km²で、市役所の位置は、東経 139 度 32 分、北緯 36 度 10 分で海拔 15m です。

主な交通機関として、東武鉄道が、東京・群馬を結び、秩父鉄道は、熊谷市へ結んでいます。主要国道等は、東北自動車道（羽生インターチェンジ）、国道 122 号、国道 125 号です。

市の中心部は、商工業の市街地となっており衣料の町として発展し、周囲は農業地帯で肥沃な田園に恵まれています。

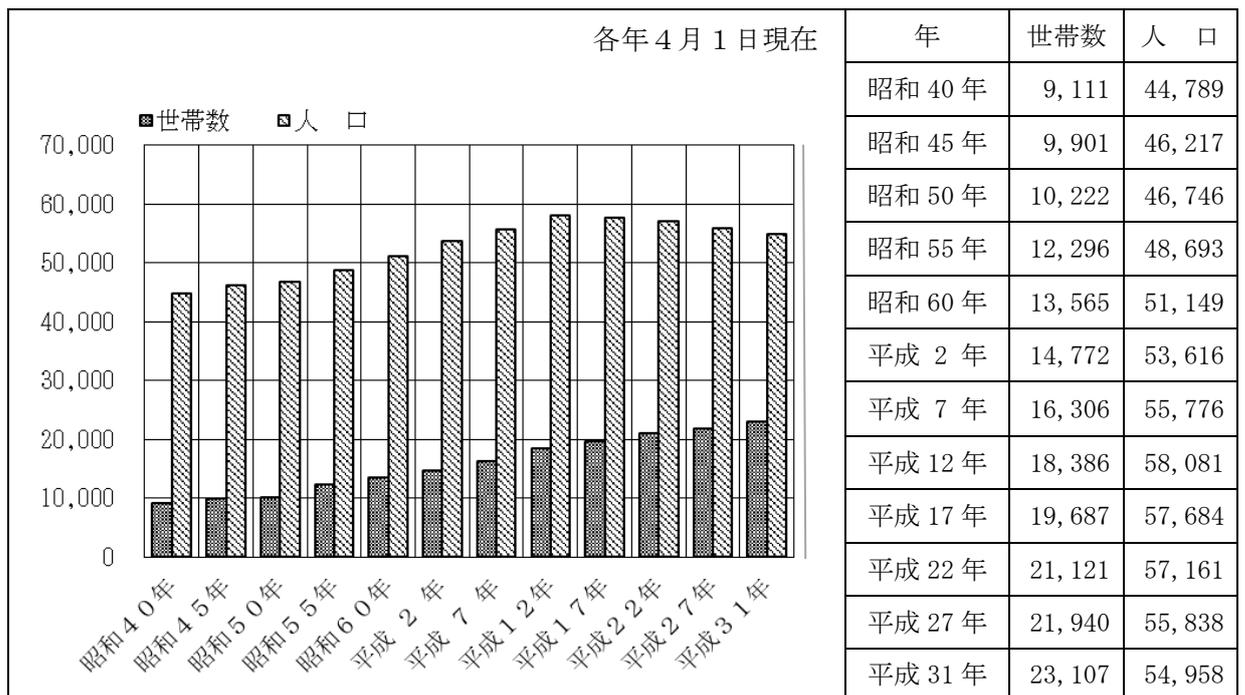


人口	54,958 人
男	27,552 人
女	27,406 人

世帯数	23,107 世帯
(平成 31 年 4 月 1 日現在)	

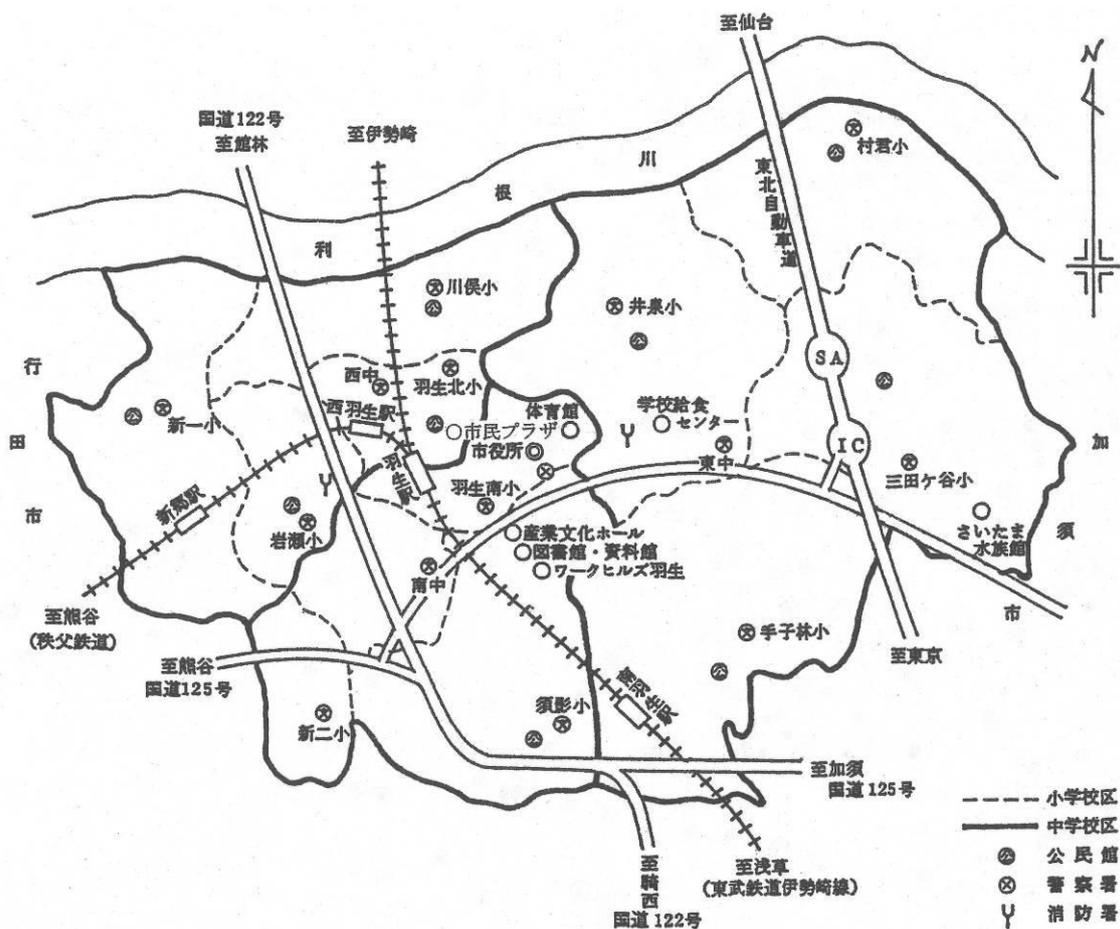
羽生市は、総合振興計画において将来都市像を「誰もが幸せを感じる、住み続けたいまち 羽生」とし、市民が主役のまちづくりを推進しています。

3. 人口と世帯数の推移

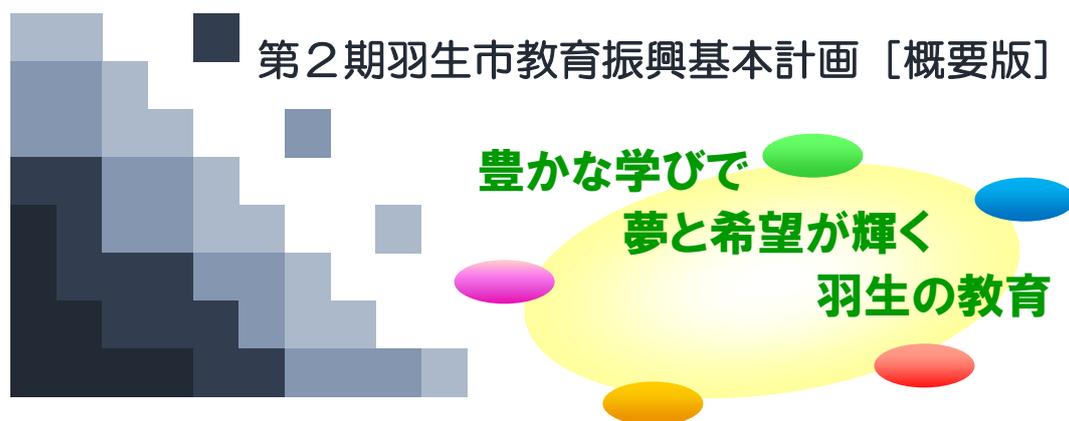


※平成11年1月1日以降は、外国人登録者数を含む。

4. 公共施設と学区



5. 第2期羽生市教育振興基本計画



基本理念

本市の将来を担い、社会の持続的な発展を支える担い手を育てていく上で、教育の使命は重要です。

この使命を果たすため、第2期計画では、本市の教育行政を進めて行くための基本的な考え方として、次の基本理念を掲げます。

豊かな学びで 夢と希望が輝く 羽生の教育

この基本理念は、誰もが学校・家庭・地域・スポーツなど、生涯を通して多様な学び（豊かな学び）で生きる力を育み、生涯を通して夢と希望が持てる（輝く）社会の実現を目指しています。

基本方針

基本理念を踏まえて、施策を実施していくにあたり、次の基本方針を掲げて取り組みます。

「知・徳・体・コミュニケーション能力」を地域とともに育みます。

学校・家庭・地域が一体となって生きる力を育み、一人一人が生涯にわたって学び、楽しみ、心のゆとりや豊かさを感じることができる社会を目指します。

基本目標・施策の体系

本計画の基本理念及び基本方針を踏まえ、今後5年間に取り組む5つの基本目標を掲げます。それぞれの基本目標を基に、15の施策と37の主な取組を設定します。

■基本目標Ⅰ 「学校力」 信頼される学校づくりの推進			
施 策		主 な 取 組	
1	教師力・学校力の向上	(1)	教職員の研修の充実
		(2)	評価制度の充実
		(3)	学校支援の充実
2	学校・家庭・地域の三者協働による学校づくり	(1)	開かれた学校づくりの推進
		(2)	三者協働による教育活動の充実
3	教育環境の整備・充実	(1)	施設・設備の適正な維持管理
		(2)	教材、図書等の整備の推進
		(3)	就学に対する支援
4	安全・安心な学校づくり	(1)	防災教育の充実
		(2)	地域ぐるみの学校安全体制の整備

■基本目標Ⅱ 「学 力」 確かな学力を育む特色ある教育の推進			
施 策		主 な 取 組	
1	確かな学力を育む学校教育の推進	(1)	特色ある教育の推進
		(2)	進路指導・キャリア教育の推進
		(3)	小中一貫教育の推進
		(4)	高等教育機関等との連携

■基本目標Ⅲ 「豊かな心と健やかな体」 道徳・人権教育の推進と食育・健康教育の充実			
施 策		主 な 取 組	
1	豊かな心を育む道徳教育の推進	(1)	道徳教育・生徒指導の推進
2	生涯にわたる人権教育の推進	(1)	学校における人権教育の推進
		(2)	社会教育における人権教育の推進
3	インクルーシブ教育システムの構築による教育の推進	(1)	特別支援教育の推進
		(2)	就学支援・相談活動体制の充実
4	食育・健康教育の推進	(1)	安全・安心な学校給食の推進
		(2)	食育の充実
		(3)	健康や体力を育む教育の充実

■基本目標Ⅳ 「地域力」 生涯学習の推進と文化活動の活性化			
施 策		主な取組	
1	市民の学習機会の充実	(1)	生涯学習事業の充実
		(2)	市民の自主的な学習活動の支援
		(3)	生涯学習環境の整備・充実
2	家庭教育と青少年健全育成の推進	(1)	家庭教育支援の充実
		(2)	青少年育成事業の実施と団体の支援
3	文化財の保護・活用と文化芸術の振興	(1)	文化財の調査、管理と活用
		(2)	文化活動への支援・文化施設の充実
4	図書館・郷土資料館の充実	(1)	図書館サービスの充実
		(2)	郷土資料館の展示・講座の充実

■基本目標Ⅴ 「スポーツ」 生涯スポーツの振興			
施 策		主な取組	
1	スポーツに親しめる環境づくり	(1)	体育施設の整備・充実
		(2)	スポーツ・レクリエーション機会の提供
		(3)	スポーツを通じた国際交流の実施
2	スポーツ・レクリエーション団体と優秀なスポーツ選手の育成	(1)	スポーツ・レクリエーション団体の活動支援
		(2)	スポーツ指導者の育成
		(3)	トップアスリートの育成



計画策定の趣旨、性格及び期間



(計画策定の趣旨)

第2期羽生市教育振興基本計画は、2014年に策定した第1期羽生市教育振興基本計画の5年間における成果と課題を検証したうえで、さらなる教育の振興を図るために策定する計画です。

(計画の性格)

- ・教育基本法第17条第2項に規定される「地方公共団体における教育の振興の施策に関する基本的な計画」です。
- ・「第6次羽生市総合振興計画」を踏まえた、教育行政分野における計画です。

(計画の期間)

2019年度から2023年度までの5年間です。

計画の推進

本計画を推進するためには、教育に関わるすべての人が、それぞれが担う役割と責任を自覚し、相互に連携・協力して取り組む必要があります。

(1) 市民参加・市民参画・市民協働

市はわかりやすい情報提供に努めるとともに、市民、関係団体等の積極的な参画を促し、地域全体で施策を推進します。

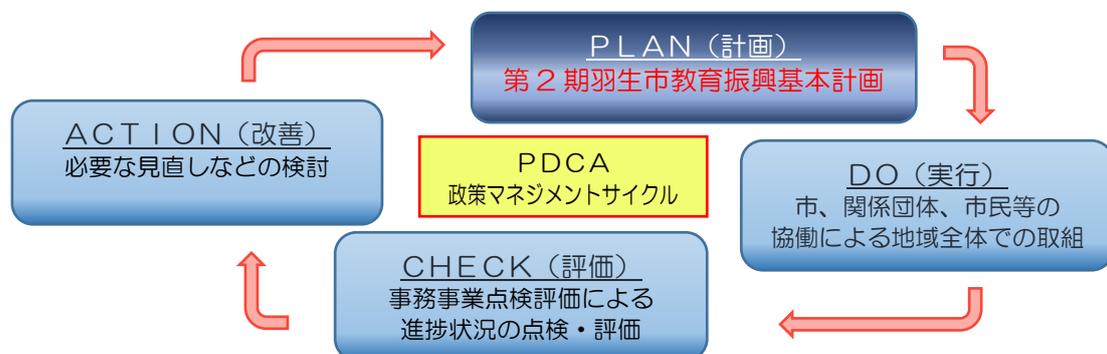
(2) 羽生市総合教育会議による協議・調整

市長と教育委員会で構成する羽生市総合教育会議において、教育の条件整備や重要事項について協議・調整を行い、教育施策の方向性を共有し、連携して取り組んでいきます。

計画の点検・評価の実施

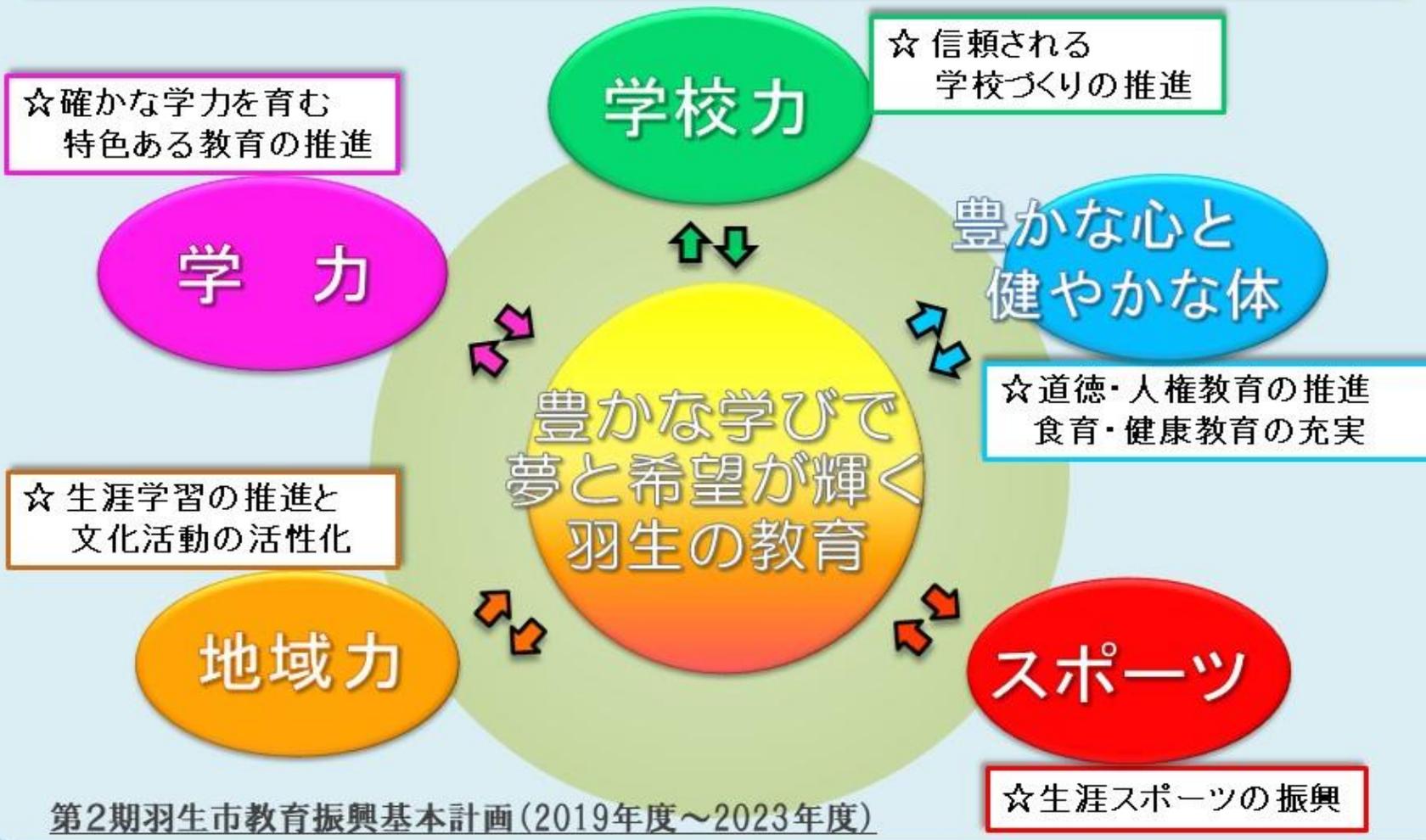
本計画に掲げた施策の実施について、常に進捗状況や効果等の把握をするとともに、PDCAの政策マネジメントサイクルにより計画を実行します。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、公表します。



令和元年度 羽生市教育委員会グランドデザイン

『知・徳・体・コミュニケーション能力』を地域とともに育みます。



第2期羽生市教育振興基本計画(2019年度～2023年度)



令和元年度 羽生市教育委員会『学校教育部』グランドデザイン



◇豊かな学びで 夢と希望が輝く 羽生の教育

『知・徳・体・コミュニケーション能力』を
地域とともに育みます

学 力

確かな学力を育む特色ある教育の推進

1 確かな学力を育む学校教育の推進

- (1) 特色ある教育の推進
 - ・ 埼玉大学教育学部附属中学校との連携協定による学力向上
 - ・ 羽生市学力アップテストの実施と運用
 - ★小中学校全校へのALT 常駐による外国語教育の充実
 - ★英語4技能テストによる効果検証(全小学校6年生)
 - ・ ICT(タブレット型端末等)のより一層の活用
 - ・ 第3回全国プレゼンテーションコンクールの開催
- (2) 進路指導・キャリア教育の推進
- (3) 小中一貫教育の推進
- (4) 高等教育機関等との連携

4 安全・安心な学校づくり

- (1) 防災教育の充実
- (2) 地域ぐるみの学校安全体制の整備

学 校 力

信頼される学校づくりの推進

1 教師力・学校力の向上

- (1) 教職員の研修の充実
 - ・ 研究委嘱事業の充実
- (2) 評価制度の充実
- (3) 学校支援の充実
 - ・ 指導主事学校担当制による支援の充実

2 学校・家庭・地域の三者協働による学校づくり

- (1) 開かれた学校づくりの推進
 - ・ 学校運営協議会等による学校との連携強化
- (2) 三者協働による教育活動の充実
 - ・ 「学力アップ羽生塾」による学力の向上
 - ・ 家庭、地域と連携した生活習慣の確立

3 教育環境の整備・充実

- (1) 施設・設備の適正な維持管理
 - ★小中学校屋内運動場等の改修工事
- (2) 教材、図書等の整備の推進
 - ★学校図書館図書管理システムの入替
 - ★教職員用パソコンの入替及び出退勤管理ソフトの導入
- (3) 就学に対する支援

豊かな心と健やかな体

道徳・人権教育の推進と食育・健康教育の充実

1 豊かな心を育む道徳教育の推進

- (1) 道徳教育・生徒指導の推進
 - ・ 「特別の教科道徳」授業の質の向上
 - ・ 組織的に対応する校内指導体制の充実

2 生涯にわたる人権教育の推進

- (1) 学校における人権教育の推進
 - ・ 人権感覚育成プログラムの活用

3 インクルーシブ教育システムの構築による教育の推進

- (1) 特別支援教育の推進
 - ・ 臨床心理士巡回相談、WISC 検査の充実
- (2) 就学支援・相談活動体制の充実

4 食育・健康教育の推進

- (1) 安全・安心な学校給食の推進
- (2) 食育の充実
- (3) 健康や体力を育む教育の充実



令和元年度 羽生市教育委員会『生涯学習部』グランドデザイン



◇豊かな学びで 夢と希望が輝く 羽生の教育

『知・徳・体・コミュニケーション能力』を
地域とともに育みます

豊かな心と健やかな体

道徳・人権教育の推進と食育・健康教育の充実

2 生涯にわたる人権教育の推進

- (2) 社会教育における人権教育の推進
- ・生涯学習の視点に立った教育・啓発活動の充実
 - ・集会所学級事業及び各種研修会の充実と指導者の養成
 - ・「人権感覚育成プログラム」等を活用した参加体験型学習の推進
 - ・学校や人権教育関係機関、企業、NPOとの連携

4 図書館・郷土資料館の充実

- (1) 図書館サービスの充実
- ・資料の充実、テーマ展示・講座等の開催
- (2) 郷土資料館の展示・講座の充実
- ・企画展「埼玉の自然を楽しむ」、「(仮)宮澤章二展」の開催

地域力

生涯学習の推進と文化活動の活性化

1 市民の学習機会の充実

- (1) 生涯学習事業の充実
- ・地域の特色を活かした講座の開催
- (2) 市民の自主的な学習活動の支援
- (3) 生涯学習環境の整備・充実
- ・生涯学習拠点施設の整備
 - ★産業文化ホール受変電設備改修工事実施設計

2 家庭教育と青少年健全育成の推進

- (1) 家庭教育支援の充実
- ・家庭教育支援事業の開催
 - ・地域の教育資源との協働
- (2) 青少年健全育成事業の実施と団体の支援

3 文化財の保護・活用と文化芸術の振興

- (1) 文化財の調査、管理と活用
- ・文化財活用事業の推進
 - ・ムジナモ自生地植生回復事業及びムジナモ「野生復帰」活動の推進
- (2) 文化活動への支援・文化施設の充実

スポーツ

生涯スポーツの振興

1 スポーツに親しめる環境づくり

- (1) 体育施設の整備・充実
- ★市体育館メインアリーナ照明器具改修工事
 - ★テニスコート人工芝修繕工事
- (2) スポーツ・レクリエーション機会の提供
- ・各種スポーツ・レクリエーション教室等の実施
- (3) スポーツを通じた国際交流の実施
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックをきっかけとしたスポーツ国際交流の推進

2 スポーツ・レクリエーション団体と優秀なスポーツ選手の育成

- (1) スポーツ・レクリエーション団体の活動支援
- ・各団体との連携による団体主催事業の自主自立化への活動支援
- (2) スポーツ指導者の育成
- ・指導者研修会の実施及び各種講習会等への派遣
- (3) トップアスリートの育成
- ・少年野球教室、剣道教室の開催

令和元年度 羽生市学力向上グランドデザイン

「子どもたち一人一人の学力を確実に伸ばす教育」を目指すアプローチ

学力向上

自信↑



わかった!できた!

市内小・中学校

全国及び埼玉県学力・学習状況調査を活用した
R-PCDAサイクル

【Research】全国及び埼玉県学力・学習状況調査の実施（4月）

- 手順1 昨年の成果を市教委と各校で分析（7・8月）
- 手順2 学力向上訪問（部課長）において各校へ返却（9月）
- 手順3 各校にてよい取組を分析・共有（9月）

主体的・対話的
で深い学びを目指した授業改善

基礎基本の徹底

補充学習の充実

指導の成果の振り返りと次年度への接続

- 教員研修の充実
 - ・研究委嘱
 - ・平成の田舎教師育成塾
 - ・各種授業研究会 など

- 学力向上支援施策の充実
 - ・羽生市学力アップテスト
 - ・学力向上訪問
 - ・学力向上推進委員会

市内でよい取組の共有
各校 授業改善計画
9月～【Plan】

弱点（学び残し）の復習
3学期 【Act】

羽生市学力アップテスト
12月 学力【Check】

各クラスにて実践
2学期【Do】

- 規則正しい生活
 - ・早寝早起き朝ごはん
- 家庭学習の習慣化
 - ・家庭学習の見届け
- 地域の教育力の活用
 - ・学校運営協議会
 - ・学校評議員
 - ・学校応援団
 - ・放課後子ども教室

教育委員会・教育研究会

家庭・地域

市内小・中学校を核とした三者連携

令和元年度 羽生の子どもたちの未来の花を咲かせる 羽生市教育委員会 **学力向上重点7** (セブン)



学力向上R-PDCAサイクルの推進

(県教委・埼玉大附属中との連携、全国及び県学調のより一層の活用、学力アップテスト等)



コミュニティ・スクールの推進

(地域が学校に参画、全小学校にて実施等)

学校



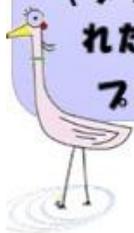
コミュニケーション能力育成活動の拡充

(第3回全国プレゼン大会の開催等)



タブレットパソコンを活用した授業

(タブレットパソコンを取り入れた授業改善、プログラミング教育等)



家庭

地域

英語教育の推進

(全小・中学校へのALT常駐、全小学校6年生対象の英語4技能テストの実施等)

道徳教育の充実

(羽生市郷土教材集「みち」、特別の教科道徳」全面实施等)



特別支援教育の充実

(臨床心理士巡回相談、WISC検査、通級指導教室の充実等)



1 1. 令和元年度 羽生市教育行政重点施策

羽生市では、『第2期羽生市教育振興基本計画』（2019－2023年度）に掲げる施策・主な取組に基づき、単年度実施計画として、『令和元年度 羽生市教育行政重点施策』を定め、実施します。

※★印は、新規事業

I 「学校力」 信頼される学校づくりの推進

1 教師力・学校力の向上

(1) 教職員の研修の充実

- ・「研究委嘱事業」の充実
- ・「平成の田舎教師育成塾」の推進
- ・「羽生市 小林秀三 教育賞（優秀な教員表彰）」の推進
- ・埼玉大学教育学部附属中学校との連携協定による研修の充実

(2) 評価制度の充実

- ・人事評価制度の充実と活用
- ・学校評価の実施と公表への支援

(3) 学校支援の充実

- ・指導主事学校担当制による学校支援の充実
- ・校務負担軽減検討委員会の実施
- ・教職員のICTの活用の推進
- ・学校における日本語指導環境の充実

2 学校・家庭・地域の三者協働による学校づくり

(1) 開かれた学校づくりの推進

- ・教育情報の積極的な公開
- ・学校評議員会、学校関係者評価委員会の充実
- ・学校運営協議会による保護者及び地域住民等の学校運営への参画促進及び連携強化

(2) 三者協働による教育活動の充実

- ・「学力アップ羽生塾」による学力の向上
- ・三者が一体となった歯科保健活動、あいさつ運動の充実
- ・家庭、地域と連携した基本的な生活習慣の確立
- ・学校運営協議会や学校応援団を通じた地域の教育力の導入

3 教育環境の整備・充実

(1) 施設・設備の適正な維持管理

- ・施設維持のための計画的な修繕及び工事の実施

- ★新郷第二小学校屋内運動場天井材落下防止ネット設置等工事
- ★西中学校屋内運動場武道場天井改修等工事
- ★南中学校屋内運動場改修工事実施設計
- ★東中学校屋内運動場改修工事実施設計

(2) 教材、図書等の整備の推進

- ・教材備品、学校図書館図書の整備推進
- ★学校図書館図書管理システムの入替
- ★教職員用パソコンの一部入替
- ★教職員用出退勤管理ソフトの導入
 - ・センターサーバーによる情報資産一括管理
 - ・情報セキュリティに対する教職員の共通理解の促進
(情報セキュリティ監査及び情報セキュリティ研修の実施)

(3) 就学に対する支援

- ・就学援助費の支給（要保護、準要保護）
- ・就学援助費の入学前支給（2020年度の新入学児童生徒学用品費）
- ・特別支援教育就学奨励費の支給

4 安全・安心な学校づくり

(1) 防災教育の充実

- ・児童生徒への防災教育の充実
- ・定期的な学校防災マニュアルの見直し

(2) 地域ぐるみの学校安全体制の整備

- ・地域安全ボランティアによる防犯体制の確立
- ・登下校時の安全指導の徹底
- ・児童生徒の安全を見守る体制づくり

II 「学力」 確かな学力を育む特色ある教育の推進

1 確かな学力を育む学校教育の推進

(1) 特色ある教育の推進

- ・埼玉大学教育学部附属中学校との連携協定による学力向上
- ・「羽生市学力アップテスト」の実施と活用
- ・羽生市学力向上推進委員会の充実
- ★小中学校全校へのALT常駐による外国語教育の充実
 - ・「岩瀬グローバルスクール事業」及び「村君地区英語村推進地域事業」の推進
- ★GTEC Juniorによる英語4技能の効果検証（市内全小学校6年生）
 - ・ICT（タブレット型端末等）のより一層の活用
- ★プログラミング教育の先行研究
 - ・「第3回全国プレゼンテーションコンクール in 羽生」の実施

(2) 進路指導・キャリア教育の推進

- ・ 系統的なキャリア教育の推進
- ・ 職場体験活動の充実
- ・ 小学校からの進路指導の推進
- (3) 小中一貫教育の推進
 - ・ 義務教育9年間において育む知・徳・体コミュニケーション能力の共通理解
 - ・ 教職員相互の連携の活性化
 - ・ 小学校から中学校への円滑な接続の推進
 - ・ 9年間の発達の段階に応じたカリキュラムの活用
- (4) 高等教育機関等との連携
 - ・ 「羽生市学びあい夢プロジェクト事業」の推進
 - ・ 高校、大学との交流事業・出前授業等の充実

Ⅲ 「豊かな心と健やかな体」 道徳・人権教育の推進と食育・健康教育の充実

1 豊かな心を育む道徳教育の推進

- (1) 道徳教育・生徒指導の推進
 - ・ 「特別の教科 道徳」の授業の質の向上
 - ・ 羽生市道徳郷土教材集「みち」及び埼玉県道徳教材「彩の国の道徳」の活用
 - ・ 「藍染め」の体験学習による郷土を愛する心の育成
 - ・ 読書活動の充実
 - ・ 児童生徒一人一人に対する理解に基づいた生徒指導の推進
 - ・ 問題行動の発生時に組織的に対応する校内指導体制の充実
 - ・ 学校、地域、警察との連携強化

2 生涯にわたる人権教育の推進

- (1) 学校における人権教育の推進
 - ・ 人権教育推進委員会の設置
 - ・ 人権教育全体計画の作成
 - ・ 人権教育に関わる教職員研修の計画的・継続的な実施
 - ・ 人権感覚育成プログラムの活用
 - ・ 人権啓発資料の積極的な情報提供
- (2) 社会教育における人権教育の推進
 - ・ 生涯学習の視点に立った教育・啓発活動の充実
 - ・ 集会所学級事業及び各種研修会の充実と指導者の養成
 - ・ 「人権感覚育成プログラム」等を活用した参加体験型学習の推進
 - ・ 学校や人権教育関係機関、企業、NPOとの連携

3 インクルーシブ教育システムの構築による教育の推進

- (1) 特別支援教育の推進
 - ・ 教職員の専門性や指導力の向上

- ・全教育活動を通じた特別支援教育の推進
- ・支援籍の積極的な推進
- ・個別の教育に応えるための多様で柔軟な仕組みの整備
- ・臨床心理士巡回相談による指導・支援
- ・通級指導教室の充実
- ・「羽生市児童生徒介助員事業」による学習支援の充実
- ・特別支援学級小中合同学習の推進
- (2) 就学支援・相談活動体制の充実
 - ・合理的配慮に基づいた基礎的教育環境整備
 - ・合意形成に基づいた就学支援
 - ・学習機会の提供
 - ・市内保・幼・小の連携強化

4 食育・健康教育の推進

- (1) 安全・安心な学校給食の推進
 - ・栄養バランスのとれた安全で豊かな食事の提供
 - ・地元食材を使用した給食の推進
 - ・食材の放射能物質検査の実施
 - ・一般市民等を対象とした試食会の実施
- (2) 食育の充実
 - ・栄養教諭等を中核とした食育事業の推進
- (3) 健康や体力を育む教育の充実
 - ・体育・保健体育の授業及び健康教育の充実
 - ・「部活動振興事業」による体づくりの推進
 - ・外部指導者による部活動支援の充実
 - ・歯科保健活動や食育推進等による健康教育の推進

IV 「地域力」 生涯学習の推進と文化活動の活性化

1 市民の学習機会の充実

- (1) 生涯学習事業の充実
 - ・公民館における主催講座の開催
 - ・公民館を拠点とした地域活動の充実（通学合宿の実施）
 - ・地域の特色を活かした講座の開催
（岩瀬グローバルタウン構想「英会話講座」及び「特別講座」の継続）
 - ・地域コミュニティと連携した事業の支援
 - ・子ども大学の開校
 - ・高校生インストラクター講座の拡充
- (2) 市民の自主的な学習活動の支援
 - ・公民館講座からサークル化への支援

- ・生涯学習出前講座等による学習活動への支援
 - ・新たな講座、講師の発掘や生涯学習リーダーの育成（市民講師登録制度の活用）
 - ・講座・イベント等生涯学習情報の発信
- (3) 生涯学習環境の整備・充実
- ・活動発表の機会と場の提供
 - ・生涯学習拠点施設の整備
- ★産業文化ホール受変電設備改修工事実施設計

2 家庭教育と青少年健全育成の推進

- (1) 家庭教育支援の充実
- ・家庭教育支援事業の開催
 - ・地域の教育資源との協働
- (2) 青少年育成事業の実施と団体の支援
- ・青少年健全育成活動への支援
 - ・青少年相談員等ボランティアの育成
 - ・放課後子ども教室の充実（学童保育室との共通プログラムの推進）

3 文化財の保護・活用と文化芸術の振興

- (1) 文化財の調査、管理と活用
- ・文化財調査の実施（古文書・埋蔵文化財調査等）
 - ・指定文化財の保護活動及び管理の充実
 - ・文化財活用事業の推進（講座及び自然見学会の開催、市ホームページの充実、郷土芸能発表会の開催等）
 - ・地域史発掘事業の推進及び文化財関係機関・団体との連携
 - ・埋蔵文化財保護行政の充実（埋蔵文化財包蔵地の周知、資料の適切な収蔵・管理）
 - ・ムジナモ自生地植生回復事業及びムジナモ「野生復帰」活動の推進
- (2) 文化活動への支援・文化施設の充実
- ・文化・芸術活動の活性化（市民の文化意識の高揚・促進）
 - ・文化芸術推進計画策定に向けた研究
 - ・産業文化ホール指定管理者による効果的な施設運営

4 図書館・郷土資料館の充実

- (1) 図書館サービスの充実
- ・一般書・児童書などの図書その他、行政資料や地域資料等を幅広く収集
 - ・図書館システムを活用したサービスの充実
 - ・他市町村との相互協力による貸出・資料保存の連携
 - ・施設見学や職場体験等の学校との連携
 - ・市民ボランティアとの連携による図書館運営の充実
 - ・文化事業の開催（おはなし会、ブックスタート、ブックトーク、読み聞かせ等の講座、読書活動支援等）
 - ・読み聞かせスペースの開放による親子で触れ合う快適な空間の提供

- ・ 保育所、学校等への団体貸出の推進
- (2) 郷土資料館の展示・講座の充実
- ★企画展Ⅰ「埼玉の自然を楽しむ」、企画展Ⅱ「(仮称)宮澤章二展」の開催
- ・ 通常展示「羽生の文学と歴史」の開催
- ・ ふるさと講座等の開催

V 「スポーツ」 生涯スポーツの振興

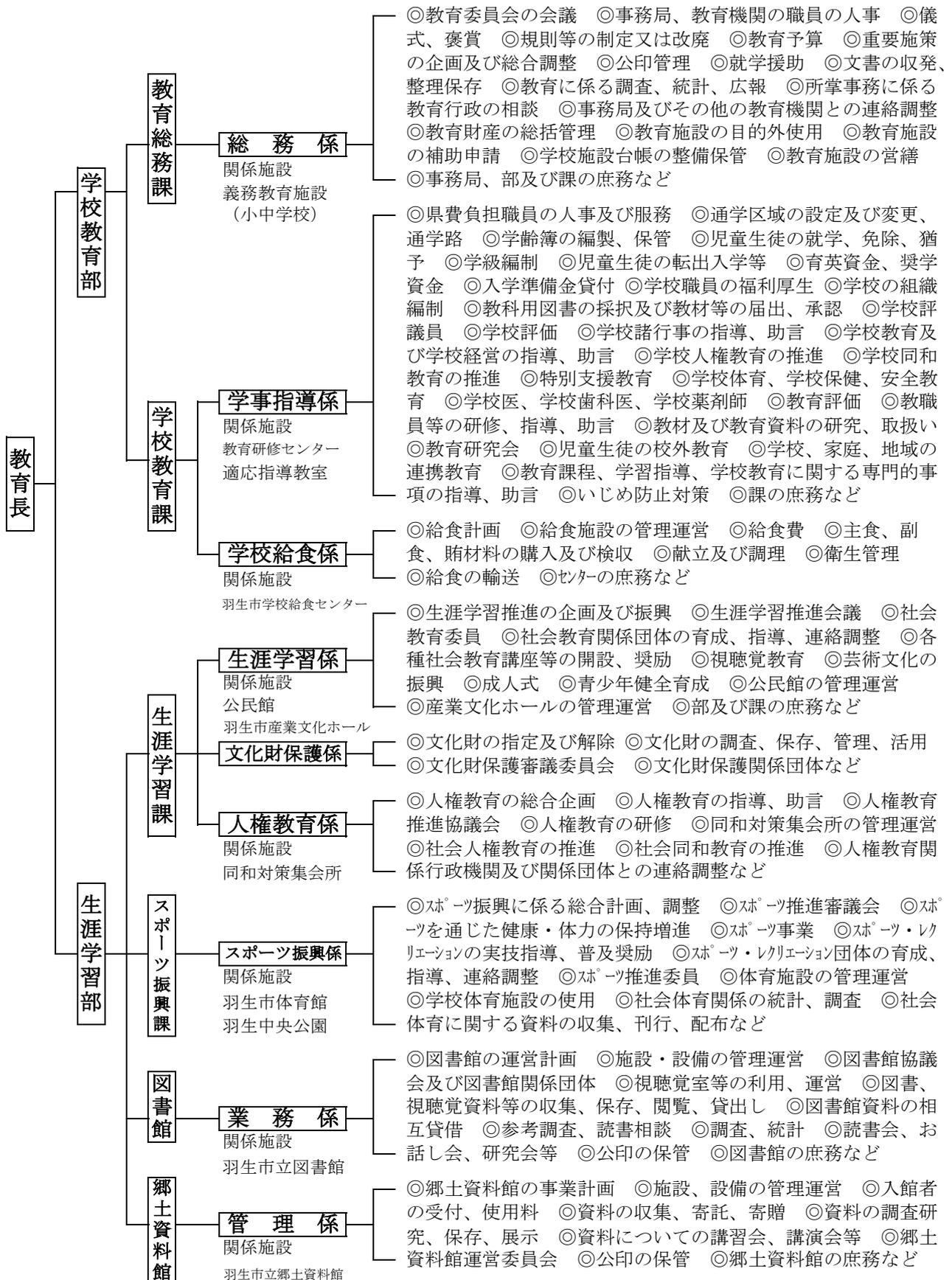
1 スポーツに親しめる環境づくり

- (1) 体育施設の整備・充実
 - ★市体育館メインアリーナ照明器具改修工事
 - ★テニスコート人工芝修繕工事
 - ・ 市体育館等体育施設の整備及び適正な運営管理
 - ・ 学校体育施設開放事業の充実
- (2) スポーツ・レクリエーション機会の提供
 - ・ 各種スポーツ・レクリエーション教室等の実施
 - ・ 関係団体との連携による大会情報等の提供
- (3) スポーツを通じた国際交流の実施
 - ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピックをきっかけとしたスポーツ国際交流の推進

2 スポーツ・レクリエーション団体と優秀なスポーツ選手の育成

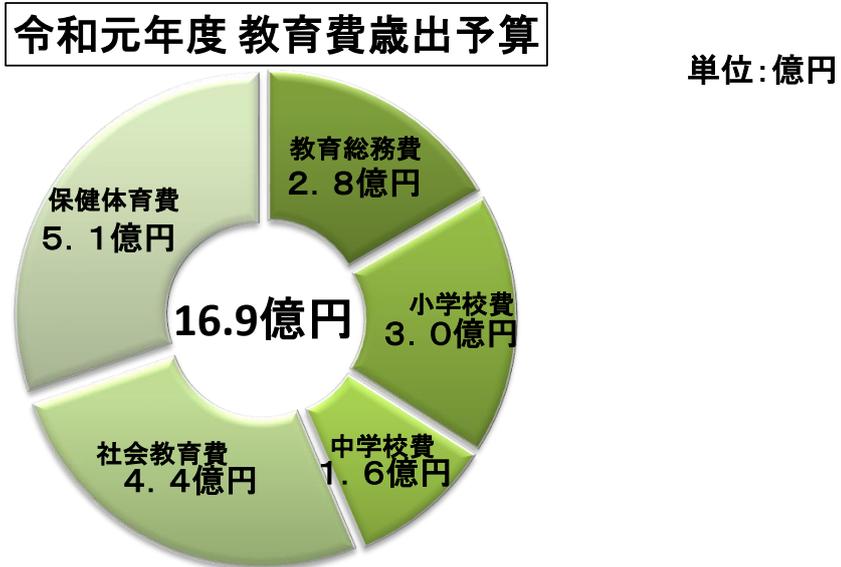
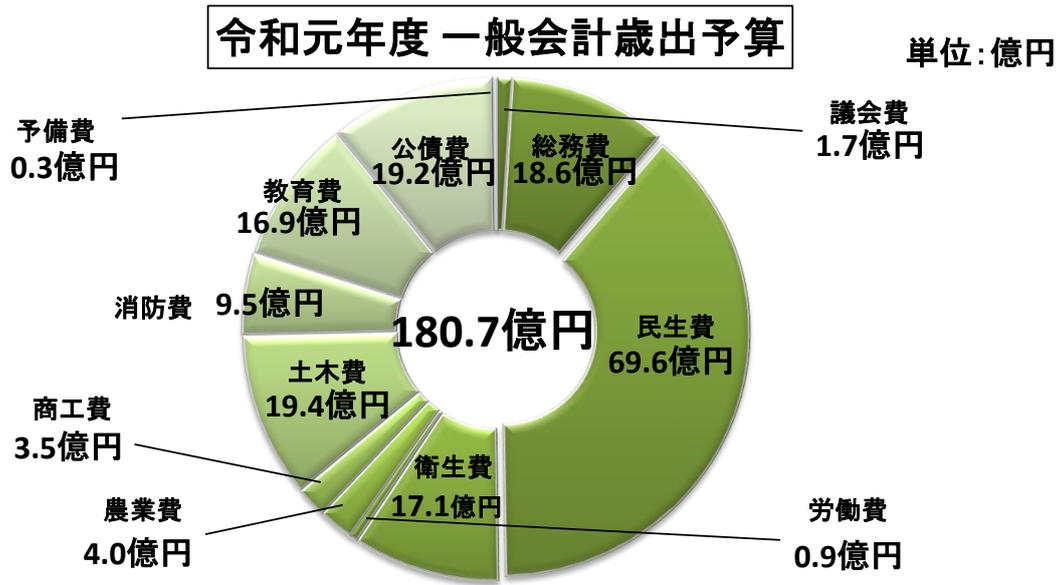
- (1) スポーツ・レクリエーション団体の活動支援
 - ・ 各団体との連携による団体主催事業の自主自立化への活動支援
- (2) スポーツ指導者の育成
 - ・ 指導者研修会の実施及び各種講習会等への派遣
- (3) トップアスリートの育成
 - ・ 少年野球教室、剣道教室の開催

1 2. 教育委員会の機構と事務分掌



13. 羽生市の予算と教育費の内訳

(1) 一般会計予算と教育費



(2) 教育費当初予算の推移

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般会計 (A)	千円 17,800,000	千円 17,930,000	千円 17,920,000	千円 17,610,000	千円 18,070,000
教育費 (B)	千円 2,232,034	千円 2,042,017	千円 1,720,028	千円 1,657,413	千円 1,689,608
教育費の割合 (B)/(A)×100	% 12.5	% 11.4	% 9.6	% 9.4	% 9.4
人口 (C)	人 55,838	人 55,589	人 55,350	人 55,087	人 54,958
人口1人当りの教育費 (B)/(C)	円 39,973	円 36,734	円 31,075	円 30,087	円 30,744

(3) 教育費の内訳

(単位：千円)

項	目	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較	本年度の財源内訳		構成比
					特定財源	一般財源	
教育総務費		280,347	274,105	6,242	16,876	263,471	%
	教育委員会費	3,242	3,148	94	0	3,242	16.6
	事務局費	277,105	270,957	6,148	16,876	260,229	
小学校費		295,520	293,954	1,566	1,944	293,576	17.5
	学校管理費	158,854	151,352	7,502	375	158,479	
	教育振興費	136,666	135,091	1,575	1,569	135,097	
	学校建設費	0	7,511	△ 7,511	0	0	
中学校費		161,221	152,142	9,079	2,510	158,711	9.5
	学校管理費	77,486	74,612	2,874	327	77,159	
	教育振興費	81,095	75,130	5,965	2,183	78,912	
	学校建設費	2,640	2,400	240	0	2,640	
社会教育費		441,787	446,403	△ 4,616	5,059	436,728	26.2
	社会教育総務費	87,313	87,827	△ 514	1,284	86,029	
	人権教育費	14,351	15,807	△ 1,456	0	14,351	
	公民館費	142,119	144,039	△ 1,920	1,670	140,449	
	図書館費	102,900	102,592	308	314	102,586	
	文化財保護費	12,269	18,089	△ 5,820	1,762	10,507	
	郷土資料館費	12,364	7,568	4,796	5	12,359	
	産業文化ホール費	70,471	70,481	△ 10	24	70,447	
保健体育費		510,733	490,809	19,924	249,542	261,191	30.2
	保健体育総務費	66,222	66,754	△ 532	1,265	64,957	
	保健体育施設費	79,751	42,849	36,902	47,439	32,312	
	学校給食施設費	364,760	381,206	△ 16,446	200,838	163,922	
合 計		1,689,608	1,657,413	32,195	275,931	1,413,677	100.0

Ⅱ 学校教育

「学校力」信頼される学校づくりの推進

教職員の指導力の向上、学校・家庭・地域の三者協働による教育活動の充実を図るとともに、教育環境の整備を推進し、信頼される学校づくりに努めます。

1. 重点施策

1 教師力・学校力の向上

(1) 教職員の研修の充実

- ・「研究委嘱事業」の充実

＜羽生市教育委員会小・中学校研究委嘱＞

各校の学校課題を踏まえた研究課題を設定し、計画的・継続的に研究を行い、その解決を図り、各校における教育的効果と教職員の資質の向上を図るとともに、その成果を広く公開することにより、市内小・中学校の教育力の向上を図ります。

＜羽生市教育委員会（個人・グループ）研究委嘱＞

市内小中学校の教職員で、教育上特に意義のある研究をしている個人及びグループに研究奨励費を交付し、助成奨励して教職員の資質の向上を図るとともに、本市教育の振興に資します。

- ・「平成の田舎教師育成塾」の推進

師範となる教科領域の専門的指導者等の指導による授業研究を通して、教職員としての実践的指導力の向上を図ります。

- ・「羽生市 小林秀三 教育賞（優秀な教員表彰）」の推進

情熱をもって地道に活動している教職員を表彰することで教職員全体の士気を高め、学校の活性化を図ります。

- ・埼玉大学教育学部附属中学校との連携協定による研修の充実

埼玉大学教育学部附属中学校と連携協定を結び、附属中の研究会に参加したり、附属中から講師として市内各中学校に指導に来ていただいたりしながら、教職員の指導力を向上させ、羽生市の未来を担う児童生徒の学力向上を目指します。

(2) 評価制度の充実

- ・人事評価制度の充実と活用

評価者が公正な評価を行い、適切に人事管理が進められるよう研修会を実施します。

- ・学校評価の実施と公表への支援

学校評価の結果をホームページで積極的に公表することを支援し、学校に対して適切に人事・予算上の支援・改善策を講じます。

(3) 学校支援の充実

- ・指導主事学校担当制による学校支援の充実

指導主事による「学校100回訪問」を実施し、学校に対する相談・支援する体制を整えます。学習指導、生徒指導等、あらゆる課題等に対して、親身な指導を心がけ、信頼関係の構築を行います。

- ・校務負担軽減検討委員会の実施

学校現場の教職員の校務の負担軽減を目指すため、各校教頭を委員として負担軽減策を検討、実行します。

- ・教職員のICTの活用の推進

学校におけるパソコン教室の整備と充実を図ります。ICTの活用促進ができる環境づくりのハード的な面と、ICTを活用して授業を行うことのできる教職員の育成のソフト的な面の充実を図ります。

- ・学校における日本語指導環境の充実

グローバル化に伴い、外国籍児童生徒の就学・編入の増加が予想されます。そうした児童生徒が、少しでも早く日本語に慣れることができるように、日本語指導員を増員し、指導の充実を図ります。

2 学校・家庭・地域の三者協働による学校づくり

(1) 開かれた学校づくりの推進

- ・教育情報の積極的な公開

学校だよりを地域の公民館やプラザ、図書館、市役所等に掲示し、学校の教育活動を保護者、地域に広く公開します。各学校のホームページを定期的に更新し、学校の教育活動を積極的に公開します。

- ・学校評議員会、学校関係者評価委員会の充実

各中学校で年3回の学校評議員会を開催します。また、学校評議員の意見を生かし、より地域に開かれた学校づくりを推進します。

また、外部評価を加えた、教育活動の点検・評価を行い、結果と改善策を公表する学校評価システムを構築し、教育活動の活性化を図ります。

- ・学校運営協議会による保護者及び地域住民等の学校運営への参画促進及び連携強化

全小学校に学校運営協議会を設置し、保護者及び地域住民の学校運営への参画を促進し、学校・家庭・地域の連携強化を図ります。

(2) 三者協働による教育活動の充実

- ・「学力アップ羽生塾」による学力の向上

小学校3年生から6年生を対象に、年間25回程度、土曜日に開催します。会場を中央・須影・三田ヶ谷公民館へ拡大し、国語と算数の基礎基本の定着を目指していきます。

- ・三者が一体となった歯科保健活動、あいさつ運動の充実

「歯・口から考える子どもたちの健康づくり研究会」の開催により、学校・家庭・地域が一体となった歯科保健活動を推進します。また、児童生徒会によるあいさつ運動、PTAによる立哨当番、学校応援団等による登下校時の見守り活動等を通し、三者が一体となり、児童生徒のあいさつ習慣確立のための運動を展開します。

- ・家庭、地域と連携した基本的な生活習慣の確立

子どもたちの豊かな心を育むためには家庭や地域の力も大きく関わります。基本的な生活習慣の確立を目指して、学校、家庭、地域が一体となり子どもを育成していきます。

- ・学校運営協議会や学校応援団を通じた地域の教育力の導入

地域の教育力を学校に導入することにより、学習指導の充実と活性化を進め、学校における多様な教育活動を支援し、地域に開かれた学校づくりを推進します。

全小学校に学校運営協議会を設置し、子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長を育むため、「地域とともにある学校」の取組を推進します。

3 教育環境の整備・充実

(1) 施設・設備の適正な維持管理

- ・施設維持のための計画的な修繕及び工事の実施

校舎や屋内運動場等の施設の適正な維持管理のため、学校と連携して老朽化や不具合の状況把握に努め、児童生徒、教職員及びその他の利用者に危害が及ぶことの無いよう、修繕及び工事を実施します。

★新郷第二小学校屋内運動場天井材落下防止ネット設置等工事

地震発生時の落下物被害を防止するため、天井材落下防止ネットの設置等、非構造部材の耐震対策工事を行います。

★西中学校屋内運動場武道場天井改修等工事

地震発生時の落下物被害を防止するため、武道場の天井改修やアリーナの照明器具の改修等、非構造部材の耐震対策工事を行います。

★南中学校屋内運動場改修工事実施設計

地震発生時の落下物被害を防止するため、天井材落下防止ネットの設置等、非構造部材の耐震対策工事の実施設計を行います。

★東中学校屋内運動場改修工事実施設計

地震発生時の落下物被害を防止するため、天井材落下防止ネットの設置等、非構造部材の耐震対策工事の実施設計を行います。

- ・今後の児童生徒数の推移を見通し、施設の適正規模・適正配置について検討を始めます。また、プール施設のあり方の検討を進めます。

(2) 教材、図書等の整備の推進

- ・教材備品、学校図書館図書の整備推進

授業及び自主学習活動の充実を目指し、計画的な教材備品等の整備を進めます。また、不用な教材備品や学校図書の廃棄を進め、新陳代謝を図ります。

★学校図書館図書管理システムの入替

教職員、学校司書の意見・要望を取り入れ機器の入替えを行い、利便性の向上を図り、児童生徒の自発的な読書活動の推進に繋がります。

★教職員用パソコンの一部入替

教職員の意見や要望を取り入れながら入替えを行い、教職員のさらなる校務の効率化及び負担軽減を図ります。

★教職員用出退勤管理ソフトの導入

教職員の出退勤時間を把握し管理することで、勤務時間に関する意識改革や長時間労働の是正に向けた在校時間の適正化を図ります。

- ・センターサーバーによる情報資産一括管理

データの紛失及び漏えいのリスクを減少させるため、センターサーバーによる小中学校の情報資産の一括管理を行います。

- ・情報セキュリティに対する教職員の共通理解の促進

(情報セキュリティ監査及び情報セキュリティ研修の実施)

個人情報やその他重要な情報の漏えいを防ぐため、小中学校において情報セキュリティ監査及び情報セキュリティ研修を行い、教職員のセキュリティ意識と学校のセキュリティレベルの向上を図ります。

(3) 就学に対する支援

- ・ 就学援助費の支給（要保護、準要保護）
経済的な理由により就学が困難な児童生徒及び震災等による被災児童生徒の保護者に対し、就学に必要な費用の一部（学用品・通学用品、医療費、学校給食費等）を援助します。
- ・ 就学援助費の入学前支給（令和2年度の新入学児童生徒学用品費）
就学援助費の新入学児童生徒学用品費の、入学前における支給を行います。
- ・ 特別支援教育就学奨励費の支給
市内小中学校の特別支援学級に就学している児童生徒の保護者を対象に、特別支援学級に通うための経済的な負担軽減のために、家庭の所得に応じて教育費の一部補助を行います。

4 安全・安心な学校づくり

(1) 防災教育の充実

- ・ 児童生徒への防災教育の充実
各学校において、あらゆる状況を想定した避難訓練を実施することにより、自主的に判断しながら自分の命を守る行動ができるようにします。
また、「自助」の考えから、まず児童生徒が自主的に判断しながら自分の命を守る行動ができるように各校で指導を展開します。次に「共助」の精神に基づき、地震など各種災害等の有事の際に安全を確保する担い手として児童生徒が適切に対応できるよう、地域とともに防災教育・防災訓練を実施します。
- ・ 定期的な学校防災マニュアルの見直し
地震など各種災害に対応するために、防災マニュアルの見直しを図り、災害発生時に適切に対応できるようにします。教育委員会が策定した「地震発生時における対応指針」を基準とし、各学校の防災マニュアルの確認や見直しを行います。

(2) 地域ぐるみの学校安全体制の整備

- ・ 地域安全ボランティアによる防犯体制の確立
市内全小学校にスクールガード・リーダーをそれぞれ1名ずつ配置します。また、各学校での地域安全ボランティアの協力により、防犯体制を確立し、安全・安心な学校づくりを推進します。
- ・ 登下校時の安全指導の徹底
各学校での毎日の登校指導、定期的に行う登校・下校指導、放課後の一斉通学班下校による指導等、安全主任を中心に全教職員、組織で取り組む安全指導の徹底を図ります。各学校が学校安全ボランティアを募集し、子どもたちの安全を見守る体制づくりを図ります。
- ・ 児童生徒の安全を見守る体制づくり
保護者や地域住民の方々にボランティアとして、登下校の見守り活動やあいさつ運動、防犯パトロール等、安全・安心に関する内容について協力してもらい、学校・家庭・地域が一体となって子どもの育成を推進します。

「学力」確かな学力を育む特色ある教育の推進

子どもたちが生きる力を発揮して社会で活躍できるよう、特色ある教育を推進するとともに、基礎・基本の徹底を図り、思考力・判断力・表現力などを含めた確かな学力の向上を目指します。

1 確かな学力を育む学校教育の推進

(1) 特色ある教育の推進

- ・埼玉大学教育学部附属中学校との連携協定による学力向上
埼玉大学教育学部附属中学校との連携を通し、教師力の向上とともに「主体的・対話的で深い学び」を促す授業改善を目指します。子どもが主体的に学ぶ中で他者と関わり、学びを広げられるような授業を積極的に展開し、学力向上を目指します。
- ・「羽生市学力アップテスト」の実施と活用
小学校3年生から中学校2年生までの全児童生徒を対象に、12月にテストを実施します。このテストの大きな特徴は、児童生徒一人一人の課題に応じたプリントがフィードバックされることです。
- ・羽生市学力向上推進委員会の充実
羽生市学力向上推進委員会において、市内の先進的な取組や特色ある取組を共有し、広げていきます。また、指導者を招聘し、広く市外・県外の取組を紹介することで羽生の教育の充実を目指します。
- ★小中学校全校へのALT常駐による外国語教育の充実
小学校における外国語科及び外国語活動や国際理解教育についての指導方法の改善を図るため、ALTの効果的な活用も含めた取組を推進します。
- ・「岩瀬グローバルスクール事業」及び「村君地区英語村推進地域事業」の推進
地域を指定して本事業を実施し、英語活動に重点を置いた教育課程の編成をしながら、児童が「英語」に慣れ親しむ機会の充実を図り、地域全体で国際理解について関心を高めるとともに、地域全体を「元気」にして活性化を図ります。
- ★GTEC Juniorによる英語4技能の効果検証（市内全小学校6年生）
ALT常駐の効果検証として、市内全小学校6年生の児童がGTEC Juniorを受験し、英語4技能について、成果と課題を検証し、授業力向上につなげます。
- ・ICT（タブレット型端末等）のより一層の活用
タブレットPCを導入した授業研究を進め、児童生徒の学力の向上を図ります。
- ★プログラミング教育の先行研究
令和2年度から全面実施されるプログラミング教育の充実に向け、羽生市教育研究会や学校と協力し、新郷第二小学校に先行研究を依頼しました。また、教育課程検討委員会も立ち上げスムーズなプログラミング教育の導入に向け準備を進めていきます。
- ・「第3回全国プレゼンテーションコンクール in 羽生」の実施
3回目を迎える全国プレゼンテーションコンクール。全国から多くの参加校を募集します。今年度はテーマを「世界へのメッセージ」とし、グローバル社会の中で子どもたちの考えを発信していきます。本コンクールを通して、全国の児童生徒と切磋琢磨しながら、全国水準のプレゼンテーション能力の育成を目指します。

(2) 進路指導・キャリア教育の推進

- ・系統的なキャリア教育の推進
小学校段階から各学校の教育活動全体を通じて、児童生徒一人一人に勤労観、職業観を育て、発達

段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進します。

- ・ 職場体験活動の充実

中学生が、地域の中での様々な社会体験活動や多くの人々とのふれあいを通して、みずみずしい感性や社会性、自律心を養い、たくましく心豊かに生きる生徒を育成することを目的として実施します。

- ・ 小学校からの進路指導の推進

小学校段階からキャリア教育を推進し、勤労観・職業観を育成し、児童生徒が将来への夢や希望を持てるよう指導します。

(3) 小中一貫教育の推進

- ・ 義務教育9年間において育む知・徳・体コミュニケーション能力の共通理解

義務教育9年間において、各校や地域の特色を生かした一貫性のある教育活動を行い、地域を愛し、次世代の担い手となる心を育みます。

- ・ 教職員相互の連携の活性化

小中一貫教育によって育みたい力を共通理解し、教職員相互の連携を活性化し指導力を高めます。

- ・ 小学校から中学校への円滑な接続の推進

小学校・中学校間の交流を一層進め、小学校から中学校への円滑な接続を図ります。

- ・ 9年間の発達の段階に応じたカリキュラムの活用

9年間の発達の段階に応じた教育活動のカリキュラムを活用し、子どもたちの学力・体力の向上と生徒指導の充実及び不登校問題の解決を図ります。

(4) 高等教育機関等との連携

- ・ 「羽生市学びあい夢プロジェクト事業」の推進

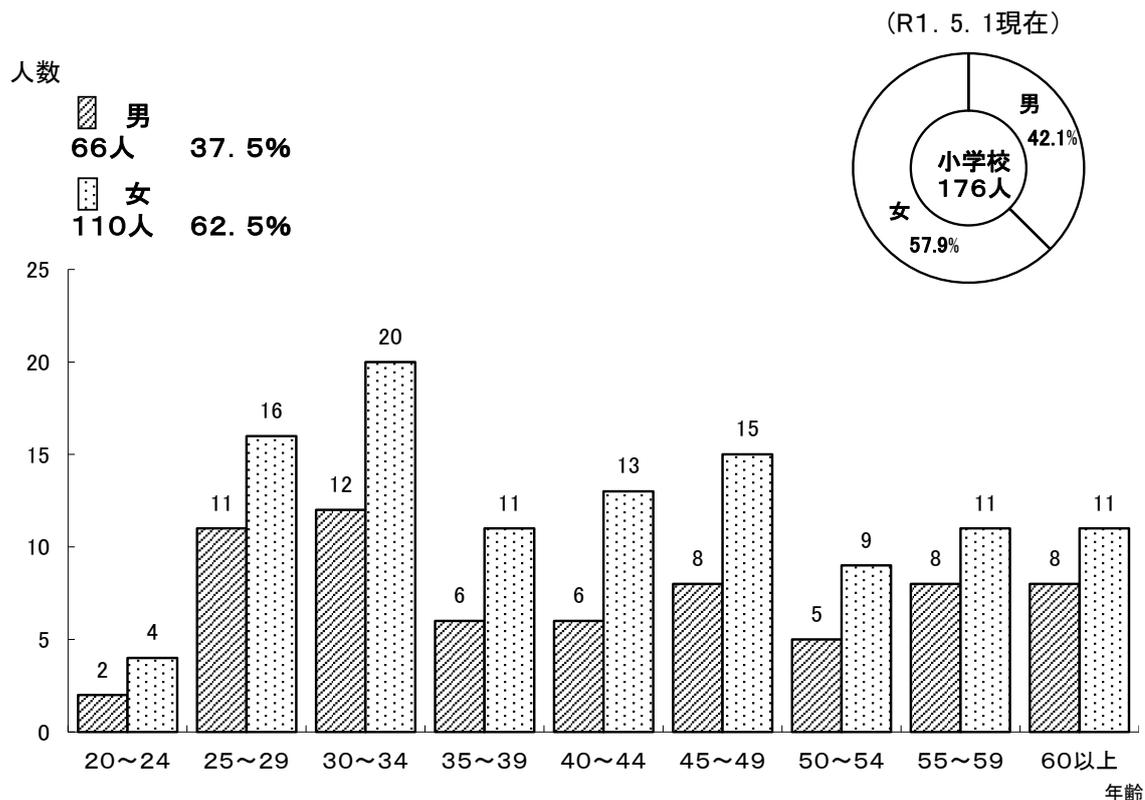
羽生市学びあい夢プロジェクト協議会により、幼・保・小・中・高・大学・児童福祉施設等地域の連携した教育を推進します。

- ・ 高校、大学との交流事業・出前授業等の充実

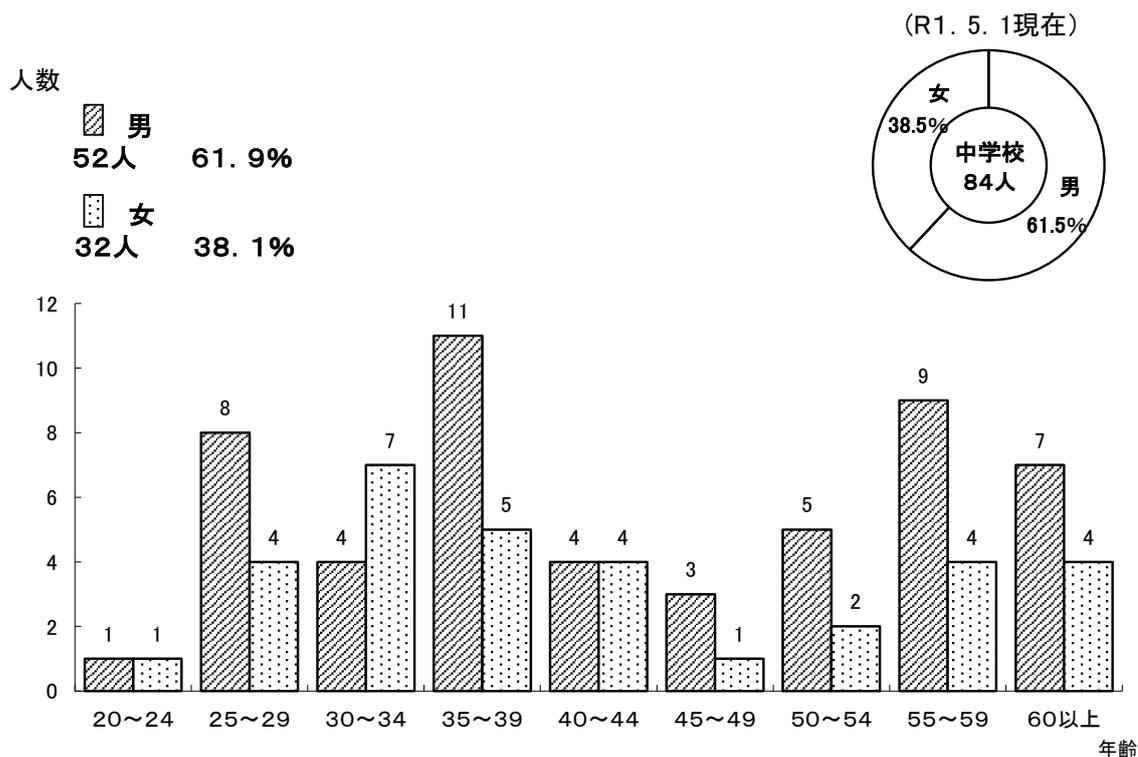
地域の大学、県立学校の授業の体験を通して、中学校のキャリア教育の充実を図ります。

2. 小・中学校教職員年齢構成及び男女比

<小学校>



<中学校>

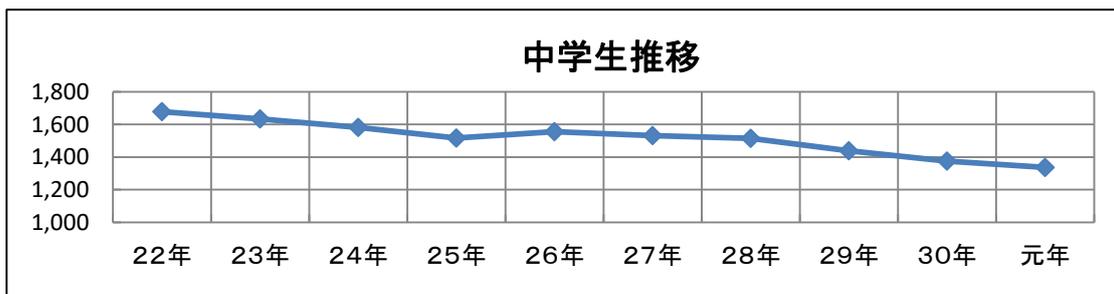
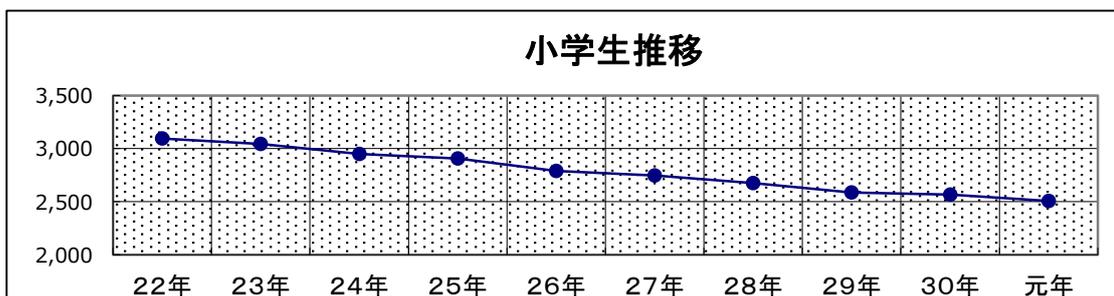


県費負担教職員（本務者）のみ
年齢は令和2年3月31日現在

3. 児童・生徒数の推移

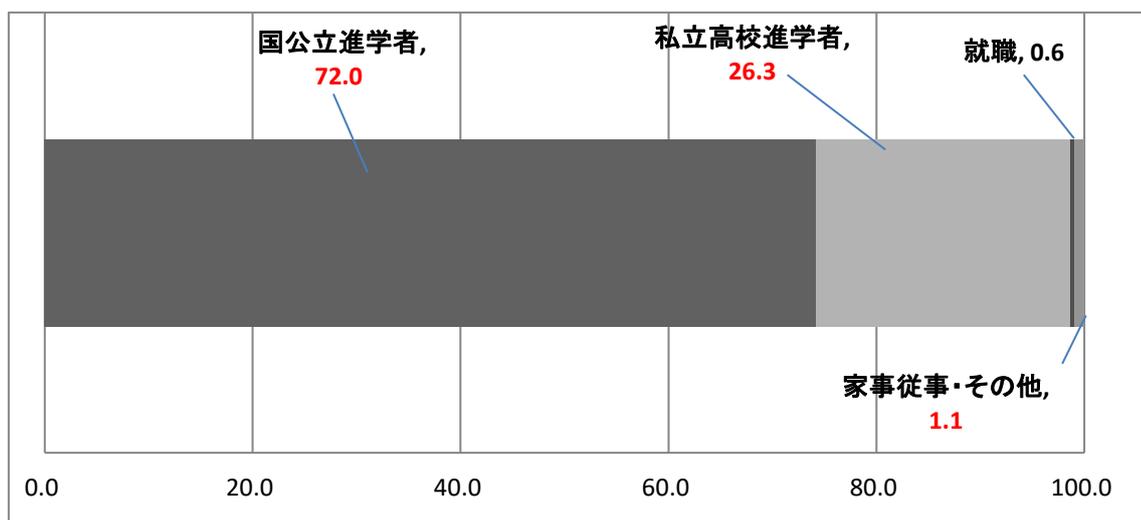
令和元年5月1日現在
(単位：人)

年度 学校名	平成 22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和 元年
羽生北 小学校	577	549	542	512	475	456	413	395	378	352
新郷第一 小学校	175	157	163	161	149	157	151	149	141	138
新郷第二 小学校	85	93	92	106	108	118	129	121	133	129
須影 小学校	354	348	329	330	309	301	298	301	312	313
岩瀬 小学校	280	278	267	271	260	267	288	311	326	338
川俣 小学校	148	139	144	135	137	125	116	110	107	108
井泉 小学校	382	400	386	392	389	378	362	341	349	333
手子林 小学校	428	416	396	396	379	383	372	361	335	323
三田ヶ谷 小学校	120	122	120	123	116	112	116	105	103	86
村君 小学校	61	62	58	53	50	51	47	46	50	59
羽生南 小学校	485	480	452	429	418	400	383	347	332	328
小計	3,095	3,044	2,949	2,908	2,790	2,748	2,675	2,587	2,566	2,507
西中学校	546	538	502	509	505	514	520	469	466	406
南中学校	560	554	561	523	530	523	509	504	462	469
東中学校	572	542	519	485	521	494	486	466	447	462
小計	1,678	1,634	1,582	1,517	1,556	1,531	1,515	1,439	1,375	1,337
合計	4,773	4,678	4,531	4,425	4,346	4,279	4,190	4,026	3,941	3,844



4. 平成30年度 中学校卒業者の進路状況

区分				男	女	計
進学	全日制本科	県内	国公立	151	174	325
			私立	29	32	61
		県外	国公立	1	2	3
			私立	32	29	61
		小計			213	237
	定時制本科	県内	公立	10	1	11
			私立	0	0	0
		県外	公立	0	0	0
			私立	0	0	0
	小計			10	1	11
	通信制本科				2	1
高等専門学校				0	1	1
特別支援学校				2	3	5
教育訓練機関等入学者				0	0	0
専修学校				1	0	1
就職者				3	0	3
無業者	家事従事			0	3	3
	その他			2	0	2
卒業生数				233	246	479
進学率 (%)				97.4%	98.8%	98.1%



5. 羽生市立小・中学校の一覧

令和元年5月1日現在

羽生北小学校

学級数()は特別支援学級数の再掲 14 (2)

児童数()は特別支援学級在籍者数の再掲 352 (9)



所在地 〒348-0057
羽生市北2丁目1番1号

電話番号 048-561-0058

ファックス 048-563-4200

校長 残間 利博

教頭 五十嵐 正



◆学校教育目標◆

○～なぜだろう～調べ・まとめ・表現できる子 ○～どうしたの～温かい心をもつ子

○～よしやるぞ～挑戦し続ける子

◆本年度の研究主題◆

学ぶことの楽しさと充実感を味わわせる学習活動の工夫

～基礎・基本が確実に身につく、自分の言葉で豊かに表現できる子を目指して～

学校敷地面積 23,251 m² (児童1人当り 66.0 m²)

校舎面積 5,752 m² (児童1人当り 16.3 m²)

体育館面積 978 m² (児童1人当り 2.7 m²)

プール面積 25m×17m 425 m²

教職員数						
校長	教頭	教員	養教	事務	栄養	計
1	1	19	1	1	1	24

新郷第一小学校

学級数()は特別支援学級数の再掲 7 (1)

児童数()は特別支援学級在籍者数の再掲 138 (1)



所在地 〒348-0041
羽生市大字上新郷 5716 番地

電話番号 048-561-0409

ファックス 048-563-4202

校長 佐藤 敏之

教頭 今井 賢司



◆学校教育目標◆

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供の育成

○自ら考える子 ○仲よくする子 ○健康でがんばる子

◆本年度の研究主題◆

自ら考え主体的に学ぶ児童の育成

～生徒指導の機能とアクティブ・ラーニングの視点を生かして～

学校敷地面積 17,014 m² (児童1人当り 123.2 m²)

校舎面積 3,208 m² (児童1人当り 23.2 m²)

体育館面積 750 m² (児童1人当り 5.4 m²)

プール面積 25m×13m 325 m²

教職員数						
校長	教頭	教員	養教	事務	栄養	計
1	1	9	1	1	0	13

新郷第二小学校

学級数()は特別支援学級数の再掲 8(2)

児童数()は特別支援学級在籍者数の再掲 129(6)



所在地 〒348-0047
羽生市大字下新郷 1099 番地

電話番号 048-561-0778

ファックス 048-563-4203

校長 小林 秀行

教頭 井上 謙



◆学校教育目標◆

○考える子 知 ○やさしい子 徳 ○たくましい子 体

◆本年度の研究主題◆

主体的・対話的な学びをとおして 深く考え学び合う児童の育成
～教科のねらいを達成し、プログラミング的思考を育成する学びの在り方～

学校敷地面積 13,151 m² (児童1人当たり 101.9 m²)

校舎面積 1,743 m² (児童1人当たり 13.5 m²)

体育館面積 601 m² (児童1人当たり 4.6 m²)

プール面積 25m×9m 225 m²

教職員数						
校長	教頭	教員	養教	事務	栄養	計
1	1	11	1	1	0	15

須影小学校

学級数()は特別支援学級数の再掲 15(3)

児童数()は特別支援学級在籍者数の再掲 313(5)



所在地 〒348-0033
羽生市大字須影 672 番地

電話番号 048-561-0666

ファックス 048-563-4204

校長 小峯 由起子

教頭 関口 考明



◆学校教育目標◆

「学びあい 助けあい 一人一人が輝く須影小」

○進んで勉強する子 ○仲良く助け合う子 ○健康でがんばる子

◆本年度の研究主題◆

学び合う喜びを知り、積極的にコミュニケーションしようとする児童の育成

学校敷地面積 16,450 m² (児童1人当たり 52.5 m²)

校舎面積 3,229 m² (児童1人当たり 10.3 m²)

体育館面積 750 m² (児童1人当たり 2.3 m²)

プール面積 25m×13m 325 m²

教職員数						
校長	教頭	教員	養教	事務	栄養	計
1	1	18	1	1	0	22

岩瀬小学校

学級数()は特別支援学級数の再掲 14 (2)

児童数()は特別支援学級在籍者数の再掲 338 (6)



所在地 〒348-0044
羽生市大字上岩瀬 1756 番地

電話番号 048-561-0803

ファックス 048-563-4205

校長 松田 貞雄

教頭 吉田 匡男



◆学校教育目標◆

「誇りのもてる岩瀬っ子の育成」を目指して

○よく考える子 ○助け合う子 ○たくましい子

◆本年度の研究主題◆

積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

～英会話科・外国語活動を通して～

◆学校教育具体目標◆

○学び合える子

○人につくせる子

○根気強く取り組める子

学校敷地面積 20,843 m² (児童1人当り 61.6 m²)

校舎面積 3,342 m² (児童1人当り 9.8 m²)

体育館面積 749 m² (児童1人当り 2.2 m²)

プール面積 25m×13m 325 m²

教職員数						
校長	教頭	教員	養教	事務	栄養	計
1	1	18	1	1	0	22

川俣小学校

学級数()は特別支援学級数の再掲 6 (0)

児童数()は特別支援学級在籍者数の再掲 108 (0)



所在地 〒348-0051
羽生市大字本川俣 629 番地

電話番号 048-561-1006

ファックス 048-563-4206

校長 酒井 春雄

教頭 松島 洋樹



◆学校教育目標◆

進んで学ぶ子 心のやさしい子 健康でがんばる子

◆本年度の研究主題◆

自ら学び、考え、表現できる児童の育成

～読むことを通して、伝え合い、学び合う指導法の工夫～

学校敷地面積 20,687 m² (児童1人当り 191.5 m²)

校舎面積 2,688 m² (児童1人当り 24.8 m²)

体育館面積 750 m² (児童1人当り 6.9 m²)

プール面積 25m×13m 325 m²

教職員数						
校長	教頭	教員	養教	事務	栄養	計
1	1	9	1	1	0	13

井 泉 小 学 校

学 級 数 () は特別支援学級数の再掲 14 (2)

児 童 数 () は特別支援学級在籍者数の再掲 333 (4)



所 在 地 〒348-0064

羽生市大字藤井上組 270 番地

電話番号 048-565-2320

ファックス 048-565-1157

校 長 吉 野 知 美

教 頭 鈴 木 岩 根



◆学校教育目標◆

すすんで勉強する子 思いやりのある子 元気でよくはたらく子

◆本年度の研究主題◆

「自分の思いや考えを豊かに伝え合うことができる児童の育成」

－主体的・対話的で深い学びを実現する国語教育－

学校敷地面積 20,853 m² (児童1人当り 62.6 m²)

校舎面積 3,868 m² (児童1人当り 11.6 m²)

体育館面積 749 m² (児童1人当り 2.2 m²)

プール面積 25m×13m 325 m²

教 職 員 数						
校 長	教 頭	教 員	養 教	事 務	栄 養	計
1	1	20	1	1	0	24

手 子 林 小 学 校

学 級 数 () は特別支援学級数の再掲 14 (2)

児 童 数 () は特別支援学級在籍者数の再掲 323 (10)



所 在 地 〒348-0022

羽生市大字下手子林 555 番地

電話番号 048-565-1069

ファックス 048-565-1158

校 長 榊 原 久 子

教 頭 梅 澤 祐 一



◆学校教育目標◆

すすんで勉強する子 (きらきら)

なかよくらせる子 (にこにこ)

からだをきたえる子 (きびきび)

◆本年度の研究主題◆

児童の主体性を育む教育活動の実践

～伝え合い 考えを深め 学び合う児童の育成を目指して～

学校敷地面積 22,229 m² (児童1人当り 68.8 m²)

校舎面積 3,680 m² (児童1人当り 11.3 m²)

体育館面積 750 m² (児童1人当り 2.3 m²)

プール面積 25m×13m 325 m²

教 職 員 数						
校 長	教 頭	教 員	養 教	事 務	栄 養	計
1	1	18	1	1	0	22

三田ヶ谷小学校

学級数()は特別支援学級数の再掲 7 (1)

児童数()は特別支援学級在籍者数の再掲 86 (1)



所在地 〒348-0004
羽生市大字弥勒 87 番地
電話番号 048-565-0008
ファックス 048-565-1159
校長 細村 一彦
教頭 坪田 一良



◆学校教育目標◆

自らの夢をもち、夢に向かって心豊かにたくましく生きる子

◆本年度の研究主題◆

「自分の考えを表現し、主体的・対話的に学ぶ児童の育成」

～外国語活動・外国語の学習を中心として～

学校敷地面積 25,465 m² (児童1人当り 296.1 m²)
校舎面積 2,660 m² (児童1人当り 30.9 m²)
体育館面積 750 m² (児童1人当り 8.7 m²)
プール面積 25m×13m 325 m²

教職員数						
校長	教頭	教員	養教	事務	栄養	計
1	1	10	1	1	0	14

村君小学校

学級数()は特別支援学級数の再掲 6 (1)

児童数()は特別支援学級在籍者数の再掲 59 (1)



所在地 〒348-0001
羽生市大字堤 107 番地
電話番号 048-565-0223
ファックス 048-565-1160
校長 鳥海 一寿
教頭 芙蓉 範子



◆学校教育目標◆

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成

○進んで学ぶ子 (かしこく) ○心豊かな子 (やさしく)

○明るくたくましい子 (げんきよく)

◆本年度の研究主題◆

「外国語を用いたコミュニケーション能力の楽しさを味わわせる指導方法の工夫」

～聞くことを土台とした4技能の習得をめざして～

学校敷地面積 17,123 m² (児童1人当り 290.2 m²)
校舎面積 2,007 m² (児童1人当り 34.0 m²)
体育館面積 495 m² (児童1人当り 8.3 m²)
プール面積 25m×13m 325 m²

教職員数						
校長	教頭	教員	養教	事務	栄養	計
1	1	7	1	1	0	11

羽生南小学校

学級数()は特別支援学級数の再掲 15(3)

児童数()は特別支援学級在籍者数の再掲 328(16)



所在地 〒348-0053
羽生市南6丁目5番地1

電話番号 048-562-1901

ファックス 048-563-4201

校長 遠井 久夫

教頭 中里 美佳



◆学校教育目標◆

地域とふれあい 人につくす

◆本年度の研究主題◆

「自ら学び互いに高め合う児童の育成」

～各教科を通して思考力・判断力・表現力を育むための指導の工夫～

学校敷地面積 24,690 m² (児童1人当たり 75.2 m²)

校舎面積 4,369 m² (児童1人当たり 13.3 m²)

体育館面積 974 m² (児童1人当たり 2.9 m²)

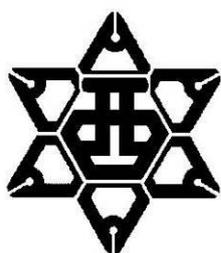
プール面積 25m×18.6m 465 m²

教職員数						
校長	教頭	教員	養教	事務	栄養	計
1	1	22	1	1	0	26

西中学校

学級数()は特別支援学級数の再掲 13(2)

生徒数()は特別支援学級在籍者数の再掲 406(9)



所在地 〒348-0055
羽生市大字羽生120番地

電話番号 048-561-0161

ファックス 048-561-5621

校長 福田 和己

教頭 加藤 裕一



◆学校教育目標◆

自ら学ぶ生徒 思いやりのある生徒 たくましく行動する生徒

◆本年度の研究主題◆

「知・徳・体バランスのとれた生きる力の育成」

～授業改善を深めるとともに、自主学習の意欲とスキルを高める～

学校敷地面積 37,562 m² (生徒1人当たり 92.5 m²)

校舎面積 6,790 m² (生徒1人当たり 16.7 m²)

体育館面積 2,714 m² (生徒1人当たり 6.6 m²)

プール面積 50m×20m 1,000 m²

教職員数						
校長	教頭	教員	養教	事務	栄養	計
1	1	24	1	1	1	29

南 中 学 校

学 級 数 () は特別支援学級数の再掲 16 (3)

生 徒 数 () は特別支援学級在籍者数の再掲 469 (15)



所 在 地 〒348-0046
羽生市大字中岩瀬 226 番地

電話番号 048-563-0253

ファックス 048-561-7921

校 長 福島 弘 充

教 頭 田 村 健 一



◆学校教育目標◆

上位目標：志を立て、道を拓け!!

○進んで学習する生徒 ○明るく協力し合う生徒 ○健康で活力のある生徒

◆本年度の研究主題◆

「確かな学力の向上を目指した指導方法の研究」

—思考力・判断力・表現力やコミュニケーションを育成する手だての探究—

学校敷地面積 28,954 m² (生徒 1 人当り 61.7 m²)

校 舎 面 積 7,416 m² (生徒 1 人当り 15.8 m²)

体 育 館 面 積 1,489 m² (生徒 1 人当り 3.1 m²)

プ ー ル 面 積 25m×19m 475 m²

教 職 員 数						
校 長	教 頭	教 員	養 教	事 務	栄 養	計
1	1	29	1	1	0	33

東 中 学 校

学 級 数 () は特別支援学級数の再掲 16 (3)

生 徒 数 () は特別支援学級在籍者数の再掲 462 (8)



所 在 地 〒348-0017
羽生市大字今泉 1448 番地

電話番号 048-565-3741

ファックス 048-565-1319

校 長 栗 原 利 夫

教 頭 山 水 明



◆学校教育目標◆

『昇る陽の如く』

昇る陽の如く 大志を抱け 昇る陽の如く 明るく照らせ

昇る陽の如く たくましく 昇る陽の如く 命を輝かせ そして生きよ 昇る陽の如く

◆本年度の研究主題◆

「逞しく生き抜く力」を基盤とした学力向上

学校敷地面積 29,587 m² (生徒 1 人当り 64.0 m²)

校 舎 面 積 6,707 m² (生徒 1 人当り 14.5 m²)

体 育 館 面 積 1,489 m² (生徒 1 人当り 3.2 m²)

プ ー ル 面 積 25m×19m 475 m²

教 職 員 数						
校 長	教 頭	教 員	養 教	事 務	栄 養	計
1	1	27	1	1	0	31

6. 羽生市教育研修センター

羽生市教育研修センターは、不登校やいじめ、集団不適應等、学校生活にうまく適應できない児童生徒の問題をはじめ、教育に係る様々な悩みに対して、教育相談機関の充実を図るとともに、教職員研修の企画及び運営等について、教育委員会と連携して推進することを目的としています。



1. 設置年月日 平成18年4月1日
2. 所在地 〒348-0058 羽生市中央3丁目7番地5号
羽生市民プラザ地下1階
電話 048-562-7200
3. 開室時間 午前9時00分～午後3時00分（月曜日～金曜日）
4. 業務内容
 - ・教育相談に関すること。
 - ・適應指導教室に関すること。
 - ・教育関係職員の研修に関すること。

7. 羽生市適應指導教室

羽生市適應指導教室は、不登校児童生徒等の学校生活への復歸を支援するため、児童生徒の在籍校と連携をとりつつ、個別カウンセリング、集団での指導、教科指導等を組織的、計画的に行う組織として設置されました。

1. 設置年月日 平成15年4月9日
2. 所在地 〒348-0058 羽生市中央3丁目7番地5号
羽生市民プラザ地下1階
電話 048-562-7200
3. 開室時間 午前9時00分～午後3時00分（月曜日～金曜日）



Ⅲ 道徳・人権教育 食育・健康教育

「豊かな心と健やかな体」道徳・人権教育の推進と食育・健康教育の充実

子どもたちの豊かな心を育むための道徳教育を推進します。また、生涯にわたる人権教育を推進し、人権を尊重する社会の実現を目指します。健やかな体を育むため、食育・健康教育の充実に図ります。

1. 重点施策

1 豊かな心を育む道徳教育の推進

(1) 道徳教育・生徒指導の推進

- ・「特別の教科 道徳」の授業の質の向上

井泉小学校における「特別の教科 道徳」の先行実施の成果を基に、市内の道徳授業の工夫・改善の啓発を図り、道徳授業全体の質の充実を目指します。

- ・羽生市道徳郷土教材集「みち」及び埼玉県道徳教材「彩の国の道徳」の活用

平成27年度に羽生市の偉人、自然、文化等に関わる内容から道徳の教材として活用できる素材を「羽生市道徳郷土教材集『みち』」としてまとめ、市内各小学校に配布しました。今後は、道徳教育年間計画に位置づける等、活用を図ります。

- ・「藍染め」の体験学習による郷土を愛する心の育成

羽生市の伝統的産業の一つである「藍染め」の体験学習を市内全小学生に6学年間に1回実施し、児童に郷土を愛する心を育てます。

- ・読書活動の充実

朝の読書の充実、読み聞かせの時間の確保、図書室の経営の充実、家庭における読書の啓発等の読書活動を通して、豊かな人間性を育みます。

- ・児童生徒一人一人に対する理解に基づいた生徒指導の推進

児童生徒のもつそれぞれの特徴や傾向をよく理解し、深い信頼関係に基づく指導・援助に努めるとともに、児童生徒が自ら判断し、目標を定め実現に努める生徒指導を推進します。

- ・問題行動の発生時に組織的に対応する校内指導体制の充実

PDC Aサイクルを活用し、校内生徒指導体制の見直しと充実を図り、各校の実態に応じた積極的な生徒指導を推進します。

- ・学校、地域、警察との連携強化

学校、地域社会や警察関係諸機関との緊密な連携を図り、社会総掛かりで健全育成活動を推進します。

2 生涯にわたる人権教育の推進

(1) 学校における人権教育の推進

- ・人権教育推進委員会の設置

校長、教頭の指導の下、人権教育に関する推進計画、全体計画、全体研修会等の企画立案を担う目的として設置しております。

- ・人権教育全体計画の作成
地域や学校の実態を踏まえ、関係法令等や学校教育目標に基づき、人権教育全体計画を作成します。
- ・人権教育に関わる教職員研修の計画的・継続的な実施
人権教育の実施にあたっては、人権教育に関わる教職員研修を計画的・継続的に実施し、教職員の指導力向上を図ります。
- ・人権感覚育成プログラムの活用
「人権感覚育成プログラム」を活用した参加体験型学習を実施し、人権感覚を育成することで、自他の人権を守るための実践力を身に付けさせます。
- ・人権啓発資料の積極的な情報提供
児童生徒の実態に応じた人権教育資料や各人権課題に即した人権啓発資料を積極的に情報提供して、人権学習を効果的に進めます。

(2) 社会教育における人権教育の推進

- ・生涯学習の視点に立った教育・啓発活動の充実
社会教育活動の全分野に人権教育を位置づけて、共生社会を実現するため、地域住民の人権意識を高める学習の機会の充実を図ります。
- ・集会所学級事業及び各種研修会の充実と指導者の養成
各集会所での小中学生学級、成人学級、女性教養講座等において人権教育講座を実施し、地域住民の人権感覚の高揚を図ります。また、多様な人権課題を取り上げた研修会や、地域の人権教育リーダーとしての指導者を育成する研修会を実施し、地域に根差した人権教育を推進します。
- ・「人権感覚育成プログラム」等を活用した参加体験型学習の推進
地域の実態に応じ、個別の人権課題に対応した講師を招き研修会を実施します。また、豊かな人権感覚が身に付けられるような「人権感覚育成プログラム」を活用した参加体験型学習の実施や身近な人権問題についての意見交換を行う等、創意工夫した学習を実施します。
- ・学校や人権教育関係機関、企業、NPOとの連携
人権を尊重しあう共生社会の実現のため、学校や人権教育関係機関、企業やNPOとともに、研修会の共同実施や積極的な情報共有等を通して人権教育を推進します。

3 インクルーシブ教育システムの構築による教育の推進

(1) 特別支援教育の推進

- ・教職員の専門性や指導力の向上
特別支援教育についての研究会等の支援を行い、発達障がいや愛着障がい等について研修することにより、専門性を高め、児童生徒一人一人に応じた支援を行うことができるようにします。
- ・全教育活動を通じた特別支援教育の推進

インクルーシブ教育の推進を図り、全教育活動を通じて特別支援教育の推進を図ります。

- ・支援籍学習の積極的な推進

特別支援学校と連携し、障がいのある児童生徒が、通常学級に入る等、ともに学ぶ支援籍学習を積極的に推進します。

- ・個別の教育に応えるための多様で柔軟な仕組みの整備

個別の教育的ニーズに応えるための多様で柔軟な仕組みを整備していきます。

- ・臨床心理士巡回相談等による指導・支援

児童生徒一人一人の発達障がいや苦手なこと、困っていることに気づき、その対応について、担任を中心とした教職員への助言を行っています。助言を基に児童生徒への対応の仕方を工夫することで、よりきめ細やかな個への対応をしていきます。

各学校や保護者からの要望に応じ、臨床心理士がWISC検査を実施します。検査の結果を保護者や学校にフィードバックし、子どもたちの特性に応じた指導に役立てていきます。

- ・通級指導教室の充実

原則週1回の個別指導を中心に、一人一人の児童生徒の課題や障がいに応じた特別の指導を行います。現在、難聴・言語障がい通級指導教室「ことばの教室」(羽生北小学校、井泉小学校)ならびに発達障がい・情緒障がい通級指導教室「みなみちゃん教室」(羽生南小学校)「きずな教室」(南中学校)を設置しています。

- ・「羽生市児童生徒介助員事業」による学習支援の充実

支援や介助を必要としている児童生徒への対応を充実させるために、児童生徒介助員を特別支援学級を中心に各校の実情に応じて配置します。教師と連携しながら個に応じたカリキュラムの支援を行います。

- ・特別支援学級小中合同学習の推進

教育委員会主催の合同学習会を開催することにより、市内の特別支援学級児童生徒一人一人が、他者とのかかわりを学んだり個別や小集団で培った力を生かしたりする学習の場を充実させます。

(2) 就学支援・相談活動体制の充実

- ・合理的配慮に基づいた基礎的教育環境整備

障がいのある児童生徒に対し、均衡を失した又は過度の負担を課さない範囲において、介助員等の確保、施設・設備の整備等、合理的配慮を提供します。

- ・合意形成に基づいた就学支援

就学先の判断については、障がいの状態、教育上必要な支援の内容、地域における教育の体制整備の状況、専門家の意見等を勘し、総合的判断を行います。その際、本人・保護者の意見を最大限尊重し、本人・保護者と羽生市教育委員会、学校等がニーズと必要な支援について合意形成を図ります。

- ・学習機会の提供

障がいのある児童生徒について、その能力や可能性を最大限に伸ばし、自立や社会参加に必要な力を培うため、一人一人の教育的ニーズに応じ、多様な学びの場において適切な指導を行います。

- ・市内保・幼・小の連携強化

児童一人一人に合った適切な就学支援が行えるように、保幼小連絡協議会を実施し、

幼稚園・保育園（所）・こども園と小学校の連携強化を図ります。

4 食育・健康教育の推進

(1) 安全・安心な学校給食の推進

- ・栄養バランスのとれた安全で豊かな食事の提供

安全な食材の選定と、米飯を主体とした栄養バランスに富む、多様で魅力のある給食（献立）の充実を図ります。

- ・地元食材を使用した給食の推進

ふるさと給食を実施するため、地元産食材の使用及び献立に郷土食や季節感のある行事食の導入を積極的に進めます。

- ・食材の放射能物質検査の実施

県の放射性物質測定機を利用し、食材の放射能物質検査を月1回実施し、食の安全性を確保します。

- ・一般市民等を対象とした試食会の実施

学校・家庭・地域と連携した食育を進めるため、広く一般市民に学校給食への理解を深めてもらう場を提供します。

(2) 食育の充実

- ・栄養教諭等を中核とした食育事業の推進

栄養教諭を中核として、食育事業の推進を図ります。6月と11月の「彩の国ふるさと学校給食月間」には、各校においてふるさとへの愛着を深める学校給食活動を推進します。

(3) 健康や体力を育む教育の充実

- ・体育・保健体育の授業及び健康教育の充実

各小中学校の特別活動と教科の保健体育の指導を中心とした全教育活動や学校保健委員会により、学校・保護者・地域が一体となった保健指導を推進します。

- ・「部活動振興事業」による体づくりの推進

生活の基盤となる体。中学校での部活動をもとに、心身ともに健やかに成長できるよう、体づくりを推進します。

- ・外部指導者による部活動支援の充実

地域人材等の外部指導者を活用することにより、部活動の充実を図ります。

- ・歯科保健活動や食育推進等による健康教育の推進

歯科衛生士や栄養教諭と連携した活動を行うことにより、相互に関連させて効果的な健康教育を推進します。

2. 人権教育推進協議会の概要と事業計画

(1) 人権教育推進協議会の目的

羽生市における人権教育の推進を図り、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向けて、明るい地域社会をつくることを目的とします。

(2) 構成（理事）

学校教育機関等代表	26名	社会教育機関等	10名	行政機関代表	9名
人権推進運動団体代表	12名	学識経験者	5名	合計	62名

(3) 事業

- ① 各種団体、機関等の連絡調整
- ② 研修会並びに講演会の開催
- ③ 指導者の養成
- ④ 参考資料の紹介及び提供、その他

事業委員会、調査研究委員会、広報委員会の3委員会で構成される専門委員会を置き、理事会の決定に基づき本会の目的達成に必要な専門的事項の審議執行にあたります。

1) 事業委員会

ア 人権教育研修会

人権教育推進協議会理事、専門委員をはじめ、各種団体、機関に参加要請し、人権問題に対する認識を深めます。8月23日（金）に産業文化ホールで実施をします。

イ 人権教育指導者研修会

市内の各種団体、機関における指導的立場にある人を対象にして研修会を開催し、指導者の養成と資質の向上を図ります。今年度は、9月～11月に計4回の講座を予定しています。

ウ 人権教育研究集会

11月26日（火）小中学校教職員、PTA役員、約300名の参加を予定し、4分科会に分かれて研修をします。

○分科会及び研修テーマ

第1分科会（同和問題）	第2分科会（子どもの人権）
第3分科会（その他の人権）	第4分科会（PTA）

2) 調査研究委員会

ア 人権作文集「じんけん」第44集発行

人権問題について、児童生徒の意識の動向を把握するとともに、生活を綴ることによって人権意識の高揚を図り、人権問題の解決をめざす人権教育を推進します。

○人権教育に対する児童生徒の意識を探る観点

小学校低・中学年

1. 命の大切さについての理解
2. 身近な差別についての理解
3. 仲間意識について
4. 身のまわりの不合理に対する意識

小学校高学年

1. 基本的人権についての理解と人間の尊さについての認識
2. 労働観、職業観について
3. 人権・同和問題に関する科学的認識
4. 連帯感・自他の人権を尊重する態度や能力について
5. 自然環境と人権について
6. 国際社会における平和と人権

中学校

1. 労働観、職業観について
2. 同和問題についての理解
3. 人権・同和問題についての科学的認識
4. 仲間意識・連帯意識について
5. 人権侵害や差別についての考えや同和問題をはじめとするさまざまな差別を解消して民主的な社会を実現しようとする意欲
6. 国際社会における平和と人権

3) 広報委員会

ア 広報紙「じんけん」の発行 第71号（3月）

市民に人権問題についての理解と認識を深めるための啓発活動の一環として、広報紙「じんけん」を発行します。親しみやすい広報紙づくりに努め、17,500部を印刷し、市内全家庭に配布します。

イ 人権標語の募集

12月の人権週間にちなんで、人権意識の高揚をはかり、人権問題の解決に資するため、市内の児童生徒を対象に、人権尊重標語を募集します。

優秀作品3点を公表し、啓発活動に努めます。

3. 学校給食の状況

羽生市学校給食センター施設の概要

所在地	羽生市大字藤井下組685番地（東武伊勢崎線羽生駅下車3.5km）
処理能力	8,000食
開設	昭和38年10月
学校数及び 実施人員数	小学校 11校 児童数2,484人 教職員等220人 計2,704人 中学校 3校 生徒数1,319人 教職員等115人 計1,434人 (平成31年4月11日現在)
配送距離	最長6.7km 最短0.7km 配送業務は、昭和62年度より民間委託
調理業務	調理及びボイラー業務は、平成21年度より民間委託
給食費	小学校月額4,100円 中学校4,900円



新しいトレイ



グラタンの調理風景

野菜の下処理作業の風景



IV 生涯学習・文化活動

「地域力」 生涯学習の推進と文化活動の活性化

学びの環境を整え、市民のニーズに応える質の高い学習機会を提供するとともに、その成果を地域へ還元することができる生涯学習社会づくりに努めます。

郷土の文化や文化財を守り、次世代に伝えていくとともに、文化芸術活動の充実を図り、文化の発展を目指します。

1. 重点施策

1 市民の学習機会の充実

(1) 生涯学習事業の充実

- ・ 公民館における主催講座の開催

市民の多様なニーズを的確に把握し、それに応じた講座を開催することで、いつでも、どこでも、誰もが気軽に参加でき、学ぶことができる機会を提供します。

- ・ 公民館を拠点とした地域活動の充実（通学合宿の実施）

地域活動・文化活動・コミュニティの拠点として、高齢者大学や健康講座、料理講座など趣向を凝らした講座を開催します。

また、通学合宿では、2泊3日の共同生活で炊事や清掃を行うことで、子どもたちが互いに助け合う協調性や自ら作業する自主性など普段ではできない体験から多くの学びを提供しています。

- ・ 地域の特色を活かした講座の開催

(岩瀬グローバルタウン構想「英会話講座」及び「特別講座」の継続)

市民のもつ知識や技能と、教育機関や民間企業等のもつ教育機能などによる地域の教育力を生かし、学習機会の充実に努めます。また、岩瀬グローバルタウン構想をソフト面で推進するため「岩瀬英会話講座」を開催し、さらに、引き続き特別講座として専門知識を持った講師を招へいすることで、より英語に親しめる環境づくりを推進します。

- ・ 地域コミュニティと連携した事業の支援

地域住民、関係団体との連携した協働事業を支援します。

- ・ 子ども大学の開校

埼玉純真短期大学、(一社)羽生青年会議所、羽生ロータリークラブ、羽生市教育委員会等が連携して、子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供します。

- ・ 高校生インストラクター講座の拡充

高校生が学生生活で培った能力を活かし、講師として地域とつながる場を設けることで、地域社会への積極的・主体的な参画意識の醸成を図り、地域の方々を対象とした多種多様な学習機会を提供します。

(2) 市民の自主的な学習活動の支援

- ・ 公民館講座からサークル化への支援

公民館で学んだことを継続的に生かすため、サークル化を促進し、支援します。

- ・生涯学習出前講座等による学習活動への支援

市民に市政について学ぶ機会を提供し、まちづくりへの参加を応援するとともに、自主的な学習活動を支援します。

- ・新たな講座、講師の発掘や生涯学習リーダーの育成（市民講師登録制度の活用）

現代的課題に対応した生涯学習事業を推進します。また、各種計画や事業の進捗状況を適切に把握するとともに、生涯学習推進に係る組織の連携と協力体制の充実に努めます。

また、市民講師登録制度を活用することで、市民が身につけた専門的な知識や技術・技能等の学習成果をもとに、講座などの講師として活躍できる機会を提供し、市民による生涯学習関連講座の開催を支援します。

- ・講座・イベント等生涯学習情報の発信

様々な世代の方々が気軽に学習でき、また交流することができるよう、多種多様な講座を開催します。また、市民のニーズに即した講座やイベント等の情報を、広報や公民館だよりにて発信します。

(3) 生涯学習環境の整備・充実

- ・活動発表の機会と場の提供

公民館まつりにおいて、サークル活動等での作品や舞台発表の機会を設けるなど、多くの人に学習の成果を発表できる機会を提供します。

文化団体が自ら計画立案し、活動や成果の発表ができるよう、発表の場の確保など文化団体の活動を支援します。

- ・生涯学習拠点施設の整備

生涯学習の拠点である公民館を適切に維持管理するため、計画的な工事・修繕を行い、生涯学習に取り組める環境づくりを推進します。

- ★産業文化ホール受変電設備改修工事实施設計

安定的に市民の文化活動の場を提供し、さらに、市民の誰もが様々な文化事業に触れる機会を提供するため、施設管理の一環として、大規模改修工事未実施個所である受変電設備の改修に向けた設計業務を実施します。

2 家庭教育と青少年健全育成の推進

(1) 家庭教育支援の充実

- ・家庭教育支援事業の開催

親の学習講座や家庭教育支援事業を開催し、親としての役割を学び、また、親同士の学び合いや仲間づくり等の支援をし、子育てしやすい環境づくりを推進します。

- ・地域の教育資源との協働

地域の教育資源の活用や、NPO法人・ボランティアなどとの協働により、子どもたちの成長に合わせた学習の機会を提供します。

(2) 青少年育成事業の実施と団体の支援

- ・青少年健全育成活動への支援

青少年に対し、体験活動や相互交流などによる人と人との関わりを持つ場を提供するとともに、青少年団体への財政的支援を行っていきます。

- ・青少年相談員等ボランティアの育成

青少年のリーダーやボランティアを育成するとともに、ボランティア活動や子ども会活動等の自主的活動を推進します。

- ・放課後子ども教室の充実（学童保育室との共通プログラムの推進）

現在、小学校6校（羽生北、新郷第一、岩瀬、井泉、手子林、羽生南）で開設しております。学校、家庭、地域、PTA等の関係団体が連携し、放課後子ども教室の充実に取り組みます。

また、放課後子ども教室と学童保育室の連携を図り、さらに広範な異年齢交流や地域交流の場を作るため、各教室ごとに特色を生かした共通プログラムを実施します。

3 文化財の保護・活用と文化芸術の振興

(1) 文化財の調査、管理と活用

- ・文化財調査の実施（古文書・埋蔵文化財調査等）

未指定文化財を含めた文化財調査を実施し、得られた成果をもとに活用を図り、さらに指定を通して保存及び活用の措置を講じます。

- ・指定文化財の保護活動及び管理の充実

指定文化財を適切に管理する措置を講じ、文化財保護意識の向上を図ります。

- ・文化財活用事業の推進（講座及び自然見学会の開催、市ホームページの充実、郷土芸能発表会の開催等）

宝蔵寺沼ムジナモ自生地での自然見学会や郷土芸能発表会の開催など、文化財に触れる機会を提供し、広く周知を図るとともに市民の文化財保護の理解を深めます。

- ・地域史発掘事業の推進及び文化財関係機関・団体との連携

現在実施している、新郷・須影・三田ヶ谷・村君地区への支援を継続するとともに、他の地区への開設の提案、働きかけを行います。また、文化財保護審議委員会、埼玉県文化財保護協会、東部地区文化財担当者会との連携や、文化財の所有者・管理者との協働を深めます。

- ・埋蔵文化財保護行政の充実（埋蔵文化財包蔵地の周知、資料の適切な収蔵・管理）

包蔵地の範囲や内容について周知し、出土品や記録類を適切に収蔵・管理します。

- ・ムジナモ自生地植生回復事業及びムジナモ「野生復帰」活動の推進

自生しているムジナモの観察を継続し、新たな生育箇所を増やすとともに、自生促進事業や水の管理、底泥の掻き揚げ等により、生育環境の改善を図ります。また、ムジナモの安定した生育を維持し、県内での生育状況について「野生絶滅」から「絶滅危惧ⅠA類」へのランクダウンを目指します。

(2) 文化活動への支援・文化施設の充実

- ・文化・芸術活動の活性化（市民の文化意識の高揚・促進）

市文化祭などの文化事業を関係団体と協働で実施するとともに、市民の文化・芸術活動を支援し、活性化を図ります。

- ・文化芸術推進計画策定に向けた研究

文化芸術の推進を図るため、文化芸術推進計画策定に向け、検討委員会会議を開催し、検討します。

- 産業文化ホール指定管理者による効果的な施設運営

産業文化ホールの運営について指定管理者による管理を継続し、民間活力によるさらなる効果的な運営及び自主事業の充実と文化の向上を図ります。

2. 指定文化財一覧

NO	種別	種類	名称	員数	概要	所有者 (管理者)	所在地	指定年月日
1	国記	天	宝蔵寺沼ムジナモ自生地		1属1種の食虫植物で、本邦唯一の自生地。	羽生市	大字三田ヶ谷	昭41. 5. 4
2	県有	彫	銅造阿弥陀如来立像	1 軀	善光寺式阿弥陀三尊の中尊、鎌倉時代の作。	永明寺 (県立博物館)	大字下村君	昭30.11. 1
3	県有	彫	木造薬師如来坐像	1 軀	ひのきの寄木造で定朝様。貞治6年(1367)の修造。	永明寺 (県立博物館)	大字下村君	昭33. 3.20
4	県有	書	川俣関所関係文書 付 関所関係用具	1 括	川俣関所関係の古文書とその用具。	個人蔵 (一部県立博物館)	大字上新郷	昭33. 3.20
5	県記	史	永明寺古墳	1 基	全長7.8m、高さ7mの県内有数の古墳。前方後円墳。	永明寺 外3名	大字下村君	平27. 3.13
6	県記	旧	川俣関所跡		日光脇往還川俣の渡しに設けられた番所。	(羽生市)	大字上新郷	昭36. 9. 1
7	県記	旧	川俣締切跡		1594年に締切られた。利根川の瀬替の始。	(羽生市)	大字上新郷	昭38. 8.27
8	県記	天	勘兵衛マツ	1 本	1628年、家光日光社参の折植えられた松。	県 (羽生市)	大字上新郷	大15. 2.19
9	県記	天	中川低地の河畔砂丘 群桑崎砂丘		平安～室町時代に形成された内陸性の砂丘。	桑崎三神社	大字桑崎	平29. 3.24
10	市有	建	小松神社本殿	3 棟	熊野社・白山社は17世紀後半、小松明神社は17世紀前半。	小松神社	大字小松	平28. 3.25
11	市有	絵	富士山の図	1 面	新郷宿本陣の地袋のふすま絵。1843年。	個人蔵	大字上新郷	昭44. 3.20
12	市有	絵	不得道可夫妻画像	2 幅	縦41cm、横26.5cm。羽生城の家老。江戸初期。	源長寺	大字藤井上組	昭48. 7. 1
13	市有	絵	雪兆の幟	1 枚	北埼玉出身の画家の作。長さ6m幅2mの錘燻像。	個人蔵	大字下村君	昭50.10.23
14	市有	絵	亀田鵬斉肖像画	1 幅	江戸時代後期の儒学者。椿南の筆による。	個人蔵	東	平元. 7.11
15	市有	彫	木造毘沙門天立像	1 軀	像高224cmの彩色像で三尊揃う。作像年代不詳。	蓮台寺	大字三田ヶ谷	昭44. 3.20
16	市有	彫	須影八幡社彫刻	3 面	本殿の三面に刻。神話、基礎工事等を描く。	八幡社	大字須影	昭44. 3.20
17	市有	彫	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	像高89cm。寄木造。室町時代の作と推定。	熊野塚	大字今泉	昭48. 7. 1
18	市有	彫	鉄造阿弥陀如来立像	1 軀	像高47cm。鎌倉時代の作と推定。火災にあう。	天宗寺 (県立博物館)	大字下岩瀬	昭48. 7. 1

NO	種別	種類	名称	員数	概要	所有者 (管理者)	所在地	指定年月日
19	市有	彫	木造聖観音立像	1 軀	像高103.2cm。平安末期から鎌倉初期の作。	祥雲寺	大字上新郷	昭48.7.1
20	市有	彫	永明寺石造二王像	1 対	1673年造、阿形像高さ186.7cm吽形像高さ190cm。	永明寺	大字下村君	昭56.6.29
21	市有	彫	木造十一面観音坐像	1 軀	檜材、寄木造、玉眼、漆箔、内刳、室町末。	小松神社	大字小松	昭56.6.29
22	市有	彫	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	願主広田直繁。庚寅作。室町末。	小松神社	大字小松	昭56.6.29
23	市有	彫	木造不動明王坐像	1 軀	下村君出身の仏師尾上朝運が1831年に制作。寄木造、彫眼。	永明寺	大字下村君	平26.3.26
24	市有	彫	木造恵比須・大黒天像	1 対	下村君出身の仏師尾上朝運が1857年に制作。一木造、彫眼。	個人蔵	大字下村君	平26.3.26
25	市有	彫	木造恵比須・大黒天像 付 新刻料金払済覚	1 対	下村君出身の仏師尾上朝運が1864年に制作。料金支払に係る古文書と一緒に残っている。	個人蔵	大字下村君	平26.3.26
26	市有	彫	木造大黒天立像付厨子	1 軀	下村君出身の仏師尾上朝運が1827年に制作。厨子に「佛師朝運 俗名尾上卯七」と墨書されている。	永明寺	大字下村君	平30.2.20
27	市有	工	金銅仏ねはん像	1 口	県内では珍しい金銅製のねはん像。1789年の再鑄。	延命寺	大字堤	昭44.3.20
28	市有	書	正覚院古文書4点	4 点	足利晴氏の文書1点と羽生城主の文書3点。中世文書。	正覚院	南	昭39.9.9
29	市有	書	「天満宮」の額	1 面	禅宗の中国人僧高泉の行書。1691年作。	天神社	東	昭39.9.9
30	市有	書	武田家の高札	1 幅	1571年武田勢武蔵国侵攻時家来の乱暴を禁ずる内容。	源長寺	大字藤井上組	昭39.9.9
31	市有	書	徳川斉昭の和歌	1 点	本陣で休息中に床の絵をみて詠んだ和歌とその詞書。	個人蔵	大字上新郷	昭44.3.20
32	市有	書	佐藤延昌の箱書	1 点	徳川斉昭日光参詣時の随員が和歌を納める箱に書く。	個人蔵	大字上新郷	昭44.3.20
33	市有	書	黒沢翁満の書	1 点	徳川斉昭の和歌をみて感動し記す。国学者。	個人蔵	大字上新郷	昭44.3.20
34	市有	書	隠元の墨跡	1 点	日本黄檗宗の開祖来朝の翌年の書、1655年作。	建福寺	南	昭44.3.20
35	市有	書	平野家古文書	20 点	江戸時代初期の社会制度を知る上で重要な書類。	個人蔵	中央	昭44.3.20
36	市有	書	亀田鵬斉の書	1 点	天神社の幟の原本。長さ8.8m、幅1m。1826年没。	個人蔵	東	昭44.3.20
37	市有	書	総願寺不動尊堂側面図	1 点	毛筆で描かれた精巧な図。江戸時代末期。	個人蔵	大字本川俣	昭44.3.20

NO	種別	種類	名称	員数	概要	所有者 (管理者)	所在地	指定年月日
38	市有	書	延命寺朱印状	9点	家光から家茂まで、寺領15石。1648年から。	延命寺	大字堤	昭44. 3.20
39	市有	書	長光寺朱印状	9点	1649年のものが最古。寺領20石6斗。	長光寺	大字今泉	昭44. 3.20
40	市有	書	正覚院宥珍授尊海印信8点	8点	1498年の銘あり市内最古。3世から4世への印信。	正覚院	南	昭56. 6.29
41	市有	書	正覚院古文書4点	4点	羽生城主大久保忠隣の寺領寄進状他3点。	正覚院	南	昭56. 6.29
42	市有	書	薬師尊の額	1面	下村君出身の書家秋山文林の書。1868年の作。	永明寺	大字下村君	昭60. 8. 1
43	市有	書	亀田鵬齊為書	1幅	親交のあった人のために書く。みみず書として有名。	個人蔵	東	平元. 7.11
44	市有	書	小菅家文書	137点	上村君村の文書群。1615年の年貢受取状など。	個人蔵	大字上村君	平22. 3.17
45	市有	考	釈迦阿弥陀種子板石塔婆	1基	幅1.8mと最大級。古墳奥壁か天井石を使用。1256年。	毘沙門堂	西	昭39. 9. 9
46	市有	考	妙法蓮華経板石塔婆	1基	1331年の建立。来迎寺、千手堂建立が記されている。	本立寺	南	昭39. 9. 9
47	市有	考	永明寺古墳出土品	1括	古墳から出土した馬具、武具、工具類。6世紀中頃。	羽生市	大字下村君	平23. 3.18
48	市有	考	小松古墳群1号墳出土品	1括	古墳石室内から採集された装身具など。7世紀前葉。	羽生市	郷土資料館	平25. 3.26
49	市民	有	小松神社算額	1面	縦68cm 横144cm。関流の門人が1859年に奉納。	小松神社	大字小松	昭44. 3.20
50	市民	有	朝鮮使節来朝	1面	絵馬。当時の風俗を描く。141.5×242cm。1727年作。	小松神社	大字小松	平元. 7.11
51	市民	有	河川改修図	1面	絵馬。土木工事を描く。120×182cm。1891年作。	天神社	大字上新郷	平元. 7.11
52	市民	有	上新郷西新田の隠居獅子頭	3体	市内最古の獅子頭で3体揃う。宝永二年(1705)の銘あり。	羽生市	郷土資料館	平17. 3.17
53	市民	無	中手子林野呂の獅子舞		8月15・16日に行われていた。八幡神社に奉納。		大字中手子林	平17. 3.17 (指定替)
54	市民	無	尾崎の獅子舞		7月14日に行われていた。鷲神社に奉納。		大字尾崎	平17. 3.17 (指定替)
55	市民	無	上新郷中新田の獅子舞		7月25日に行われていた。天神社に奉納。		大字上新郷	平17. 3.17 (指定替)
56	市民	無	上村君の獅子舞		7月中旬に行われている。避来矢・雷電神社に奉納。		大字上村君	平17. 3.17 (指定替)
57	市民	無	下手子林の獅子舞		9月中旬に行われている。豊武神社、観音堂に奉納。		大字下手子林	平17. 3.17 (指定替)
58	市民	無	桑崎の獅子舞		十五夜祭(旧暦8月15日)に近い日曜日に行われている。桑崎三神社に奉納。		大字桑崎	平17. 3.17 (指定替)

NO	種別	種類	名称	員数	概要	所有者(管理者)	所在地	指定年月日
59	市民	無	八雲神社御輿渡御等行事		1625年のはじまり。新暦7月7日頃実施。		中央	平19. 3.19
60	市民	無	本川侯の廻り地蔵		地蔵像を通年にわたって本川侯地区の家々で巡行させる風習		本川侯	平31. 3.27
61	市記	史	田舎教師の墓	1基	羽生が舞台となった小説のモデルである人物の墓。	建福寺	南	昭31. 9. 1
62	市記	史	岡田十松建立墓碑	1基	剣士岡田十松が建立、立原翠軒が撰文揮毫。1813年。	個人蔵	大字砂山	昭31. 9.27
63	市記	史	徳川家康鷹狩の跡		法性寺由緒明細書帳に記。休憩した場所。	(羽生市)	大字上新郷	昭31.11.27
64	市記	史	堀田相模守生祠	1基	当地の領主佐倉城主堀田家を村民が祠った。1771年。	大天白神社	北	昭32. 1.29
65	市記	史	松平大和守生祠	1基	当地の領主川越城主松平家を村民が祠った。1794年。	長良神社	大字本川侯	昭32. 1.29
66	市記	史	森玉岡翁墓碣銘の碑	1基	江戸時代末期の儒者で、庶民教育に尽力。1862年。	毘沙門堂	西	昭39. 9. 9
67	市記	史	羽生菅公廟梅樹記の碑	1基	天神社の梅の由来を記。亀田鵬斎の撰文、書。1809年。	天神社	東	昭39. 9. 9
68	市記	史	清水誓信墓碑	1基	羽生町場村名主の徳行を刻む。1832年没。	正光寺	北	昭39. 9. 9
69	市記	史	羽生城跡		平城。築造時期は定かでないが、1614年に廃絶。	天神社	東	昭46.12. 5
70	市記	史	葛西用水取入口跡		1660年関東郡代伊奈忠克により開削。	(羽生市)	大字本川侯	昭48.10. 1
71	市記	史	堀越家五輪塔	1基	伝堀越館跡に建つ。全高130.5cm、凝灰岩製、14世紀。	個人蔵	大字藤井上組	平元. 7.11
72	市記	史	伝堀越館跡		溝が方形に巡る。築造時期は不明であるが江戸初期の祠がある。	羽生市	大字藤井上組	平13. 9.26
73	市記	天	上新郷のシイノキ	2本	推定樹齢400年。樹高18m。	個人蔵	大字上新郷	昭44. 3.20
74	市記	天	永明寺のイチヨウ	1本	雌株。推定樹齢500年。樹高37.5m。	永明寺	大字下村君	昭44. 6.26
75	市記	天	上岩瀬のシイノキ	1本	推定樹齢400年。樹高8m。医王寺境内。	医王寺	大字上岩瀬	昭44. 6.26

注) 国記—国指定記念物 県有—県指定有形文化財 県無—県指定無形文化財 県記—県指定記念物
市有—市指定有形文化財 市民—市指定民俗文化財 市記—市指定記念物
建—建造物 絵—絵画 彫—彫刻 工—工芸品 書—書籍、典籍、古文書 考—考古資料
有—有形民俗文化財 無—無形民俗文化財 史—史跡 天—天然記念物 旧—旧跡

平成30年度 市指定文化財 新規指定



60. 本川侯の廻り地蔵

3. 羽生市公民館の概要

公民館は、実際生活に即する文化、教育、学術等に関する各種事業を身近な地域で実施する日常生活に密着した施設です。地域の方々に多様な学習の機会を提供し、講座内容を充実させることにより、利用者の知的好奇心の満足や健康の増進等を図ります。

また、講座を修了した人たちが引き続き学んでいけるよう、必要な支援を行います。そのために地域に開かれ、多くの人たちが利用しやすい公民館としての運営に努めます。

中央公民館



所在地	〒348-0058 羽生市中央2丁目8番10号
電話番号	048-562-1558
設立年月日	昭和29年9月1日
竣工年月日	昭和58年3月25日
開館時間	午前9時～午後9時30分
休館日	火曜日、年末年始
建物面積	2,125.75 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 4階建

新郷公民館



所在地	〒348-0041 羽生市大字上新郷5630番地4
電話番号	048-561-1013
設立年月日	昭和29年9月1日
竣工年月日	昭和60年2月25日
開館時間	午前9時～午後9時30分
休館日	火曜日、祝日、年末年始
建物面積	554.07 m ²
構造	鉄骨造 平屋建

須影公民館



所在地 〒348-0033
羽生市大字須影 714 番地

電話番号 048-561-0667

設立年月日 昭和 29 年 9 月 1 日

竣工年月日 昭和 56 年 3 月 10 日

耐震補強等
竣工年月日 平成 27 年 1 月 8 日

開館時間 午前 9 時～午後 9 時 30 分

休館日 火曜日、祝日、年末年始

建物面積 497.30 m²

構造 鉄骨造 2 階建

岩瀬公民館



所在地 〒348-0044
羽生市大字上岩瀬 2367 番地

電話番号 048-561-5070

設立年月日 昭和 29 年 9 月 1 日

竣工年月日 昭和 59 年 3 月 10 日

開館時間 午前 9 時～午後 9 時 30 分

休館日 火曜日、祝日、年末年始

建物面積 556.02 m²

構造 鉄骨造 2 階建

川俣公民館



所在地 〒348-0051
羽生市大字本川俣 630 番地

電話番号 048-562-0321

設立年月日 昭和 29 年 9 月 1 日

竣工年月日 昭和 53 年 11 月 30 日

耐震補強等
竣工年月日 平成 26 年 1 月 28 日

開館時間 午前 9 時～午後 9 時 30 分

休館日 火曜日、祝日、年末年始

建物面積 497.30 m²

構造 鉄骨造 2 階建

井泉公民館



所在地 〒348-0064
羽生市大字藤井上組 275 番地
電話番号 048-565-1009
設立年月日 昭和 29 年 9 月 1 日
竣工年月日 昭和 57 年 3 月 20 日
開館時間 午前 9 時～午後 9 時 30 分
休館日 火曜日、祝日、年末年始
建物面積 543.42 m²
構造 鉄骨造 2 階建

手子林公民館



所在地 〒348-0022
羽生市大字下手子林 805 番地
電話番号 048-565-2668
設立年月日 昭和 29 年 9 月 1 日
竣工年月日 昭和 57 年 3 月 20 日
開館時間 午前 9 時～午後 9 時 30 分
休館日 火曜日、祝日、年末年始
建物面積 543.42 m²
構造 鉄骨造 2 階建

三田ヶ谷公民館



所在地 〒348-0004
羽生市大字弥勒 634 番地 1
電話番号 048-565-0040
設立年月日 昭和 29 年 9 月 1 日
竣工年月日 昭和 59 年 3 月 10 日
開館時間 午前 9 時～午後 9 時 30 分
休館日 火曜日、祝日、年末年始
建物面積 556.02 m²
構造 鉄骨造 2 階建

村 君 公 民 館



所 在 地	〒348-0006 羽生市大字下村君 2227 番地
電 話 番 号	048-565-3538
設 立 年 月 日	昭和 29 年 9 月 1 日
竣 工 年 月 日	昭和 53 年 6 月 15 日
耐 震 補 強 等 竣 工 年 月 日	平成 27 年 12 月 18 日
開 館 時 間	午前 9 時～午後 9 時 30 分
休 館 日	火曜日、祝日、年末年始
建 物 面 積	497.30 m ²
構 造	鉄骨造 2 階建

4. 羽生市産業文化ホールの概要

産業文化ホールは、地域の方々の各種発表会等多くの文化的・教育的活動が行われている地域文化の発信拠点施設です。コンサートや演劇などの芸術・文化事業を充実させることにより、市民福祉の向上を図り、地域文化の振興に寄与します。

また、利用者のニーズに合わせ、大小2つのホールの特徴を活かして様々な行事に対応できるホールとして、地域に根差した運営に努めます。

産 業 文 化 ホ ー ル



所 在 地	〒348-0026 羽生市大字下羽生 876 番地
電 話 番 号	048-561-4911
竣 工 年 月 日	昭和 58 年 12 月 25 日
開 館 年 月 日	昭和 59 年 1 月 14 日
大 規 模 改 修 竣 工 年 月 日	平成 26 年 9 月 1 日
開 館 時 間	午前 9 時～午後 10 時
休 館 日	火曜日、年末年始
建 物 面 積	7,615 m ²
構 造	鉄筋コンクリート一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 3 階建

図書館・郷土資料館

5. 重点施策

1. 図書館・郷土資料館の充実

(1) 図書館サービスの充実

- ・一般書・児童書などの図書その他、行政資料や地域資料等を幅広く収集
資料収集方針に基づき、地域の実情や市民の要望を踏まえた図書館資料の整備を推進し、市民の学ぶ・調べるといった要求に的確に応えられるよう、所蔵資料の適正化を進めます。郷土に親しみ郷土を学ぶため、郷土資料や行政資料の充実を図ります。
- ・図書館システムを活用したサービスの充実
図書館システムを活用し、新たな利用者サービスの可能性を検討します。
- ・他市町村との相互協力による貸出・資料保存の連携
県内公立図書館との資料の相互協力を推進し、資料の貸出・借受及び資料保存の連携に努めます。
- ・施設見学や職場体験等の学校との連携
身近で親しみのもてる施設運営を行い、社会教育の場を提供します。
- ・市民ボランティアとの連携による図書館運営の充実
ボランティアの協力を得て、文化事業を実施し、図書館運営の充実に努めます。
- ・文化事業の開催（おはなし会、ブックスタート、ブックトーク、読み聞かせ等の講座、読書活動支援等）
各種事業の開催を通し身近で日常的に図書館が利用できる環境づくりに努めます。
- ・読み聞かせスペースの開放による親子で触れ合う快適な空間の提供
おはなし会の開催日に合わせて赤ちゃんタイムを実施し、小さなお子さんのいるご家族も気兼ねなく利用できる環境を提供します。
- ・保育所、学校等への団体貸出の推進
本に触れる機会を広げるため、保育所、学校等への団体貸出を働きかけます。

(2) 郷土資料館の展示・講座の充実

- ・企画展Ⅰ「埼玉の自然を楽しむ」の開催
県内で見られる生きものをテーマに、埼玉県立自然の博物館との共催により、動物のはく製等の資料を様々な視点から観察できるよう展示し、自然を楽しむポイントを紹介します。
- ・企画展Ⅱ「(仮称) 宮澤章二生誕100周年記念展」の開催
生誕100周年を記念し、これまで郷土資料館で収集してきた関連資料を中心に展示を行い、宮澤章二の人物像や作品について紹介します。
- ・通常展示「羽生の文学と歴史」の開催
羽生が舞台となった小説『田舎教師』の関連資料と市内の遺跡から発見された考古資料を展示し、羽生の文学と歴史への理解を深める機会とします。
- ・ふるさと講座等の開催
郷土の歴史や文化について紹介し、郷土への興味と知識を広めるため、講座や研修会を開催します。また、市民学芸員（ボランティア）に対し、実際の調査等に即した内容での研修会を実施します。

6. 羽生市立図書館・郷土資料館の概要

1. 開館年月日 昭和61年8月1日
2. 所在地 〒348-0026
羽生市大字下羽生948番地
電話 048-561-8233 図書館
048-562-4341 郷土資料館
3. 敷地面積 10,407㎡
4. 建築
 ・構造 鉄筋コンクリート造り一部2階建
 ・建築面積 2,345㎡
 ・床面積 1階 2,167㎡ 2階 403㎡
5. 主要施設
 ・図書館 一般開架室(6万冊)、参考調査室(1万冊)
 児童室(3万冊)、積層書庫(7万冊)
 視聴覚室(80席)、学習室(48席)
 ・郷土資料館 展示室、民俗収蔵庫、特別収蔵庫、燻蒸庫
6. 開館時間
 ・図書館 午前9時～午後6時
 ・郷土資料館 午前9時～午後5時
7. 休館日
 ・毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日)
 ・毎月第4木曜日(7・8月を除く)
 ・年末年始
 ・特別整理期間
8. 資料
 ・図書館 蔵書 180,012冊
 視聴覚資料 2,670点
 ・郷土資料館 収蔵点数 18,687点



一般開架室



資料の展示風景

V スポーツ

生涯スポーツの振興

市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、スポーツ・レクリエーション活動を推進します。

1. 重点施策

1 スポーツに親しめる環境づくり

(1) 体育施設の整備・充実

★市体育館メインアリーナ照明器具改修工事

老朽化しているメインアリーナ照明器具をLEDに交換し、市民のだれもがより安心してスポーツに親しむことができる環境を整えます。

★テニスコート人工芝修繕工事

利用の安全性を確保するため、テニスコートの人工芝の一部を張り替えます。

・市体育館等体育施設の整備及び適正な運営管理

施設及び設備の老朽化に対し、計画的な修繕を実施し適正な維持管理に努めるとともに、体育施設の管理運営に民間事業者等のノウハウを活用し、より効果的・効率的な管理運営を行うため、指定管理者制度導入の推進を図ります。

・学校体育施設開放事業の充実

学校教育に支障のない範囲でスポーツの利用ができるよう、市内小・中学校の体育館を引き続き開放し、合わせて調整会議の開催等、登録団体が利用しやすい環境を整えます。

(2) スポーツ・レクリエーション機会の提供

・各種スポーツ・レクリエーション教室等の実施

スポーツを始める動機づけとして各種スポーツスクールを実施します。

また、市の関係機関と連携し、健康・体力づくりに関わる教室等を開催します。

・関係団体との連携による大会情報等の提供

市内スポーツ関係団体が開催する大会やイベントに関する情報を広く市民に周知するため、各団体と連携し、体育館内に掲示板を設けるなど情報の提供に努めます。

(3) スポーツを通じた国際交流の実施

・2020年東京オリンピック・パラリンピックをきっかけとしたスポーツ国際交流の推進

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とし、姉妹都市を中心に、スポーツを通じた国際交流の推進を図ります。

2 スポーツ・レクリエーション団体と優秀なスポーツ選手の育成

(1) スポーツ・レクリエーション団体の活動支援

- ・各団体との連携による団体主催事業の自主自立化への活動支援

市内スポーツ関係団体との連携を図り、各団体が主催する大会やイベントに対する補助及び後援を行い、自主運営ができるよう支援するとともに、各団体相互の連携・協力を促進します。

(2) スポーツ指導者の育成

- ・指導者研修会の実施及び各種講習会等への派遣

スポーツ指導者の資質の向上及び新たな担い手の育成を図るため、研修会を実施するとともに、国や県等が主催する各種講習会への参加を促進します。

(3) トップアスリートの育成

- ・少年野球教室、剣道教室の開催

専門的な知識・技能を持った優秀な指導者に触れることにより、未来のトップアスリートの育成を図ることを目的として、少年野球教室及び剣道教室を開催するとともに指導者の技術の向上を図るための指導者講習会を開催します。

2. 羽生市体育館及び羽生中央公園の概要

1. 開館年月日 昭和54年10月1日
2. 所在地 〒348-0052 羽生市東9丁目1番地1
電話 048-563-0150
3. 体育館開館時間 午前8時30分～午後9時30分
4. 使用時間 体育館 午前9時～午後9時30分
陸上競技場・野球場・南広場 午前9時～午後5時
テニスコート・自由広場 午前9時～午後9時
(ナイター5月15日～8月31日) 午後7時～午後9時
(ナイター9月1日～5月14日) 午後5時～午後9時
5. 休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日が休館日)
年末年始

6. 施設内容

羽生市体育館		羽生中央公園	
施設	使用内容	施設	使用内容
メインアリーナ (1,776 m ²)	バスケットボールコート 2面 バレーボールコート 3面 バドミントンコート 10面	陸上競技場	8レーン400mトラック(クレー) 走幅跳び・走高跳び 砲丸投げサークル
サブアリーナ (735.43 m ²)	バスケットボールコート 1面 バレーボールコート 1面 バドミントンコート 3面	野球場 (11,280 m ²)	両翼90m 中堅115m 内野:クレー 外野:芝生張 スコアボード 1基
観客席	メインアリーナ固定席 768席	テニスコート	クレーコート 2面 オムニコート 5面 ※夜間照明有
トレーニング室	297 m ²		
卓球場	卓球台 8台		
会議室	90 m ²	自由広場	7,218 m ² (クレー) 野球グラウンド1面 他
柔道場	317 m ² (144畳)		
剣道場	317 m ²	南広場	4,380 m ² (芝生張)
			

VI 資料

1. 教育委員会教育長及び委員

- ・歴代の羽生市教育委員会教育長
教育委員会新制度移行前

在職期間	氏名	在職期間	氏名	在職期間	氏名
昭31.10.1～43.9.27	斉藤義頼	昭63.10.1～平7.3.31	石川勝己	平18.7.18～28.3.31	小島敏之
昭43.10.1～59.9.30	大塚信一	平7.4.1～12.9.30	入江常夫		
昭59.10.1～63.9.30	岩崎 栄	平12.10.2～18.6.30	河田 昌		

教育委員会新制度移行後

在職期間	氏名	在職期間	氏名	在職期間	氏名
平28.4.1～現職	秋本文子				

- ・歴代の羽生市教育委員会委員

在職期間	氏名	在職期間	氏名	在職期間	氏名
昭30.10.1～34.9.30	源 修道	昭45.10.1～53.9.30	須永秀雄	平12.10.1～18.6.30	河田 昌
昭31.10.1～35.9.30	金子 清	昭50.10.1～62.9.30	小菅正夫	平12.10.1～20.9.30	篠崎英治
昭31.10.1～43.9.28	斉藤義頼	昭51.10.1～59.9.30	町田典一	平14.10.1～18.9.30	宮内芳子
昭32.10.1～40.9.30	高橋保次郎	昭53.10.1～61.9.30	野本進一	平15.10.1～19.9.30	関口義明
昭33.10.1～38.3.20	平野 宏	昭56.10.20～60.9.30	杉山茂輔	平17.10.20～21.10.19	岡戸正憲
昭34.10.1～35.1.15	秋山源三郎	昭59.10.1～63.9.30	岩崎 栄	平18.7.18～28.3.31	小島敏之
昭35.3.28～42.9.30	中川のぶ	昭59.10.1～平4.9.30	出井三郎	平18.10.1～26.9.30	栗原倉子
昭35.10.1～39.9.30	須永正一	昭60.10.20～平4.6.22	田辺雄三	平19.10.5～27.10.4	石井康三
昭38.6.20～41.9.30	小島茂朔	昭61.10.1～平6.9.30	増田茂夫	平20.10.1～28.9.30	岩本一盛
昭39.10.1～43.3.7	岩崎 清	昭62.10.1～平7.9.30	尾城英一	平21.10.20～22.12.10	小林完治
昭40.10.1～44.9.30	馬場六郎	昭63.10.1～平7.3.31	石川勝己	平23.3.24～29.10.19	古市 明
昭41.10.1～45.9.30	野川正之助	平4.9.22～17.10.19	田中 沖	平26.10.1～29.9.30	春山教子
昭42.10.1～50.9.30	生艸光重	平4.10.1～12.9.30	折原浩一	平27.10.5～現職	柿沼拓弥
昭43.10.1～51.9.30	根岸武夫	平6.10.1～14.9.30	寺井芳子	平28.10.1～現職	高瀬賢一
昭43.10.1～59.9.30	大塚信一	平7.4.1～12.9.30	入江常夫	平29.10.20～現職	平野博之
昭44.10.1～56.9.18	乾 忠夫	平7.10.1～15.9.30	坂田英雄	平30.10.1～現職	岩崎智子

- ・歴代の羽生市教育委員会委員長

在職期間	氏名	在職期間	氏名	在職期間	氏名
昭33.10.1～40.9.30	高橋保次郎	昭62.10.1～63.12.5	出井三郎	平17.10.20～20.9.30	篠崎英治
昭40.10.1～44.9.30	馬場六郎	昭63.12.6～平4.6.22	田辺雄三	平20.10.1～26.9.30	栗原倉子
昭44.10.1～56.9.18	乾 忠夫	平4.10.1～6.9.30	増田茂夫	平26.10.1～27.9.30	石井康三
昭56.10.1～62.9.30	小菅正夫	平6.10.1～17.10.19	田中 沖	平27.10.1～28.3.31	岩本一盛

※昭和34年4月1日羽生市と千代田村合併時以降

※平成28年4月1日より教育委員会新制度へ移行（委員長と教育長を統合して新教育長へ）

2. 教育委員会関係委員等

名 称	委員数	所掌事務	任期
羽生市いじめ問題調査 審議会委員	5名	市立小中学校におけるいじめの防止等に関する 調査及び審議	2年
羽生市学校給食センター 運営協議会委員	12名	羽生市学校給食センターの運営に関する事項の 審議	2年
羽生市社会教育委員	19名	社会教育に関し教育委員会に助言するための次の 職務を行う。 ・社会教育に関する諸計画の立案 ・教育委員会の諮問に応じ、意見を述べる ・上記の職務を行うために必要な研究調査	2年
文化財保護審議委員	7名	教育委員会の諮問に応じて次に掲げる事項を調 査審議する。 ・文化財の指定、無形文化財の保持者の認定及び 解除 ・指定文化財の修理、復旧、滅失、き損防止措置 ・指定文化財の現状変更の許可及び環境保全のた め必要な施設の勧告 等	2年
羽生市スポーツ推進 審議会委員	11名	教育委員会の諮問に応じて次に掲げる事項を調 査審議する。 ・スポーツ推進計画 ・スポーツの施設及び設備の整備又は使用 ・スポーツの指導者の養成及び資質の向上 等	2年
羽生市スポーツ推進委員	35名	住民のスポーツの推進に関しその分担する地域 又は事項について次の職務を行う。 ・スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡 調整 ・住民に対するスポーツの実技の指導 ・住民のためのスポーツ活動の促進のための組織 の育成 等	2年
羽生市立図書館協議会 委員	8名	図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるととも に、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対し て意見を述べる。	2年
羽生市立郷土資料館運営 委員会委員	6名	郷土資料館の運営についての調査審議	2年

3. 教育施設の沿革

(単位：年)

昭 29	9. 市制施行により、羽生市立羽生小学校、新郷第一小学校、新郷第二小学校、須影小学校、岩瀬小学校、川俣小学校、井泉小学校、手子林小学校、羽生中学校、新郷中学校、須影中学校、岩瀬中学校、川俣中学校、井泉中学校、手子林中学校と改称 11. 手子林小 鉄筋校舎三階建新築	38	3. 新郷第一小 特別教室 4. 須影小 講堂新築 4. 岩瀬小 講堂新築 10. センター方式による完全給食開始	
	31	3. 羽生中 体育館新築 9. 須影中 校庭拡張工事	39	1. 手子林中 体育館新築 8. 羽生中、新郷中、須影中、井泉中、手子林中、千代田中 プール建設 10. 羽生市立図書館 文化会館内に開設
	32	3. 新郷第二小 二階建校舎新築 4. 羽生小 プール建設 9. 新郷第二小 講堂新築	40	2. 三田ヶ谷小 屋内運動場 3. 井泉中 技術家庭科室
	33	3. 岩瀬小 二階建木造モルタル校舎 4. 旧羽生中学校、旧岩瀬中学校、旧川俣中学校を統合して、羽生市立羽生中学校を設立 7. 羽生中 増築	41	3. 須影中 校舎西側に集会所 3. 手子林中 特別教室
	34	3. 川俣小 校舎改築工事 4. 千代田村編入により、村君小学校、三田ヶ谷小学校、千代田中学校と改称 4. 須影小 新校舎改築 4. 村君小 村君中学校が廃され、小学校校舎として使用 6. 千代田中 第二期工事 8. 羽生小 給食室	42	3. 須影集会所 新築 10. 羽生中 体育館改修工事
			43	3. 羽生中 校庭排水工事 5. 須影小 校舎1棟 8. 岩瀬小、村君小 プール建設 12. 井泉中 校庭置土
			44	3. 新郷第一小 体育館 8. 川俣小、井泉小、三田ヶ谷小 プール建設
			45	3. 手子林小 体育館 7. 手子林小、新郷第二小、須影小 プール建設
	35	3. 川俣小 校庭拡張 9. 手子林小 鉄筋校舎二階建	46	3. 羽生小 新館鉄筋三階建校舎
	36	3. 羽生中 校舎増改築 3. 新郷中 新校舎 3. 須影中 体育館新築 3. 井泉中 体育館新築 7. 千代田中 実習室移築工事 11. 羽生中 校地拡張	47	7. 新郷第一小 プール建設 9. 羽生中 LL教室新築
			48	3. 井泉小 新館鉄筋三階建校舎一部 7. 村君小 体育館 7. 岩瀬小 校庭置土
			49	3. 須影中 特別教室 3. 稲子集会所 新築 6. 岩瀬小、村君小 プール改造 9. 新郷第一小 校庭置土
	37	1. 羽生小 講堂兼体育館 3. 三田ヶ谷小 新校舎増築移転 3. 村君小 新校舎増築 4. 須影中 技術家庭科室小学校より移転 5. 羽生中 第3校舎増築 9. 井泉中 校庭拡張 12. 羽生中 校地拡張	50	3. 井泉小 鉄筋三階建校舎二期工事 3. 桑崎集会所 新築 6. 井泉小 鉄筋三階建校舎三期工事 6. 井泉小 プール改造 7. 羽生公民館 旧庁舎に移転 8. 図書館 旧庁舎に移転 12. 下岩瀬集会所 新築 12. あだたら高原少年自然の家 開設 須影中、新郷第二小、校庭置土
			51	3. 羽生中 プレハブ三教室増築 6. 川俣小、三田ヶ谷小 プール改造

52	<ul style="list-style-type: none"> 3. 須影集会所 料理教室増築 3. 羽生中 プレハブ二教室増築 3. 羽生南小 鉄筋三階・二階建校舎 4. 羽生小を廃し、羽生北小、羽生南小に分離 7. 羽生南小 プール建設 10. 羽生南小 屋内運動場 	58	<ul style="list-style-type: none"> 3. 川俣小 鉄筋三階建校舎 3. 新郷第二小 屋内運動場 3. 三田ヶ谷小 屋内運動場 3. 中央公民館 新築 6. 新郷第二小 プール建設
53	<ul style="list-style-type: none"> 3. 新郷第一小 プレハブ二教室増築 3. 羽生中 スプリンクラー設置 4. 三田ヶ谷小 鉄筋三階建校舎 6. 村君公民館 新築 6. 手子林小 プール改造 11. 川俣公民館 新築 	59	<ul style="list-style-type: none"> 2. 手子林小 南校舎便所改築 3. 岩瀬公民館、三田ヶ谷公民館 新築
54	<ul style="list-style-type: none"> 3. 西新田集会所 新築 3. 岩瀬小 鉄筋三階建校舎 3. 新郷第二小 校庭拡張 3. 井泉小 校庭拡張 3. 羽生中 体育館窓枠修理 9. 岩瀬小 校庭置土 10. 羽生市体育館 新築 11. 手子林小 スプリンクラー設置 12. 南 中 鉄筋四階建及び鉄筋三階建校舎 	60	<ul style="list-style-type: none"> 2. 須影小 鉄筋三階建・二階建校舎 2. 新郷公民館 新築 3. 川俣小 屋内運動場 3. 井泉小 F R P プール建設 6. 須影小 F R P プール建設
55	<ul style="list-style-type: none"> 3. 南 中 プール建設 3. 南 中 屋内運動場 3. 井泉小 校舎増築 3. 羽生北小 校舎増築 4. 羽生中、新郷中、須影中を分離統合し、西中（羽生中改称）、南中（新設）開校 11. 東 中 鉄筋三階建校舎 2 棟 	61	<ul style="list-style-type: none"> 2. 須影小 屋内運動場 8. 図書館・郷土資料館開館 10. 須影小 校庭整備 12. 新郷第一小 屋内運動場 12. 岩瀬小 F R P プール建設
56	<ul style="list-style-type: none"> 3. 東 中 屋内運動場 3. 新郷第二小 鉄筋二階建校舎 3. 井泉小 屋内運動場 3. 須影公民館 新築 4. 井泉中、手子林中、千代田中を廃し、東中開校 7. 東 中 プール建設 	62	<ul style="list-style-type: none"> 2. 岩瀬小 スプリンクラー改修 2. 東 中 校庭整備、スプリンクラー設置 5. 陸上競技場オープン 8. 羽生北小 2 号館改修 12. 村君小 スプリンクラー設置
57	<ul style="list-style-type: none"> 3. 新郷第一小 鉄筋三階建校舎 3. 村君小 鉄筋二階建校舎 3. 岩瀬小 屋内運動場 3. 西 中 特別教室増改築 3. 井泉公民館、手子林公民館 新築 	63	<ul style="list-style-type: none"> 3. 井泉小 校庭整備、スプリンクラー設置
		平	<ul style="list-style-type: none"> 3. 手子林小 屋内運動場 5. 手子林小 鉄筋二階建校舎 7. 手子林小 F R P プール建設 12. 村君小 鉄骨平屋建校舎（プレイルーム）
		元	<ul style="list-style-type: none"> 1. 羽生北小 校庭整備、スプリンクラー設置 3. 手子林小 校庭整備 7. 羽生北小 F R P プール建設 8. 羽生北小 3 号館曳家
		2	<ul style="list-style-type: none"> 3. 羽生北小 屋内運動場 3. 羽生南小 校庭整備、スプリンクラー設置 3. 西 中 校庭整備、スプリンクラー設置
		3	<ul style="list-style-type: none"> 3. 羽生北小 1 号館増改築
		4	<ul style="list-style-type: none"> 4. 手子林小 校地拡張
		5	<ul style="list-style-type: none"> 2. 西 中 屋内運動場
		6	<ul style="list-style-type: none"> 3. 新郷第二小、手子林小 スプリンクラー設置

7	2. 新郷第一小、須影小、川俣小スプリングラー設置 7. 西 中 1号館増改築	26	1. 川俣公民館 耐震補強等 3. 羽生市体育館 メインアリーナ床再生塗装 8. 羽生北小 校舎2号館・3号館大規模改造等 8. 三田ヶ谷小 屋内運動場屋根外壁等改修 8. 産業文化ホール 大規模改修 8. 東 中 校舎B棟大規模改造 12. 須影公民館 耐震補強等
8	12. 井泉小 大規模改造		
9	2. 新郷第一小 FRPプール建設	27	8. 新郷第二小 校舎大規模改造等 8. 須影小 屋内運動場屋根外壁等改修 8. 図書館・郷土資料館空調設備改修 10. 羽生市体育館 電気・機械設備等改修 12. 村君公民館 耐震補強等
10	2. 村君小 FRPプール建設 12. 羽生南小 大規模改造		
11	2. 川俣小 FRPプール建設 2. 岩瀬小、三田ヶ谷小 耐震補強 3. 東 中 校庭及びテニスコート整備	28	1. 須影小、川俣小 受変電設備改修 1. 羽生南小 屋内運動場天井材落下防止等 3. 井泉小 校庭整備 8. 新郷第一小 校舎大規模改造 8. 川俣小 屋内運動場屋根外壁等改修
12	3. 南 中 耐震補強 8. 東 中 耐震補強 8. 羽生北小 耐震補強		
13	2. 三田ヶ谷小 FRPプール建設 9. 羽生南小 屋内運動場大規模改造	29	2. 井泉小 屋内運動場天井材落下防止等 8. 西 中 3号館大規模改造 8. 手子林小 屋内運動場屋根外壁等改修
14	2. 西 中 2号館増改築 9. 羽生市体育館サブアリーナ増築		
15	4. 羽生市適応指導教室 設置 11. 西 中 更衣室	30	2. 岩瀬小 屋内運動場天井材落下防止等 8. 羽生北小 屋内運動場屋根外壁等改修
16	9. 南 中 校庭整備		
17	8. 南 中 屋内運動場屋根改修 8. 東 中 校舎特別棟屋上防水改修	31 令元	1. 村君小 屋内運動場天井材落下防止等
18	4. 羽生市教育研修センター 設置 6. 西 中 プール本体改修 6. 西 中 プール機械・電気設備改修 9. 岩瀬小 屋内運動場屋根外壁塗装改修 9. 東 中 屋内運動場屋根改修・耐震補強		
19	8. 新郷第二小 屋内運動場屋根・外壁改修 9. 南 中 校舎特別教室棟屋上防水改修		
20	8. 村君小 屋内運動場屋根改修・耐震補強		
21	8. 三田ヶ谷小 校舎大規模改修 8. 西 中 校庭整備		
22	8. 岩瀬小 校舎大規模改修 8. 手子林小 校庭整備		
23	3. あだたら高原少年自然の家 廃止 8. 南 中 校舎大規模改修		
24	1. 井泉小 校舎2号館大規模改修 8. 岩瀬小 屋内運動場屋根改修 8. 南 中 受水槽改修		
25	1. 羽生市体育館 耐震補強 2. 全小学校 空調機器設置 2. 全中学校 空調機器設置 8. 東 中 校舎A棟大規模改造等 8. 新郷第一小 屋内運動場屋根外壁等改修 9. 陸上競技場 トラック・助走路改修		

スポーツ都市宣言

私たちはスポーツを愛しスポーツに親しみ健康で豊かな羽生市をめざしここにスポーツ都市を宣言します

すべての市民が

- 一、スポーツを通してたくましい心と体をつくりましょう
- 一、スポーツを通して友情の輪をひろげましょう
- 一、スポーツを通して明るいまちをつくりましょう
- 一、スポーツを通して世界の人々と手をつなぎましょう

羽生市

.....

羽生の教育

令和元年度

発行 羽生市教育委員会

羽生市東6丁目15番地

TEL 048-561-1121(代)

FAX 048-561-6562

HP <http://www.city.hanyu.lg.jp/>

編集 羽生市教育委員会 教育総務課

.....